

<前回調査・県調査との比較>

前回調査との比較では、今回調査で「該当しない」という選択肢が増えたため、「該当しない」が47.1%となり、「わからない」が前回（17.0%）より15.4ポイント低下している。

県調査との比較でも同様に、県では「わからない」「該当しない」という選択肢がないため、比較が難しい。

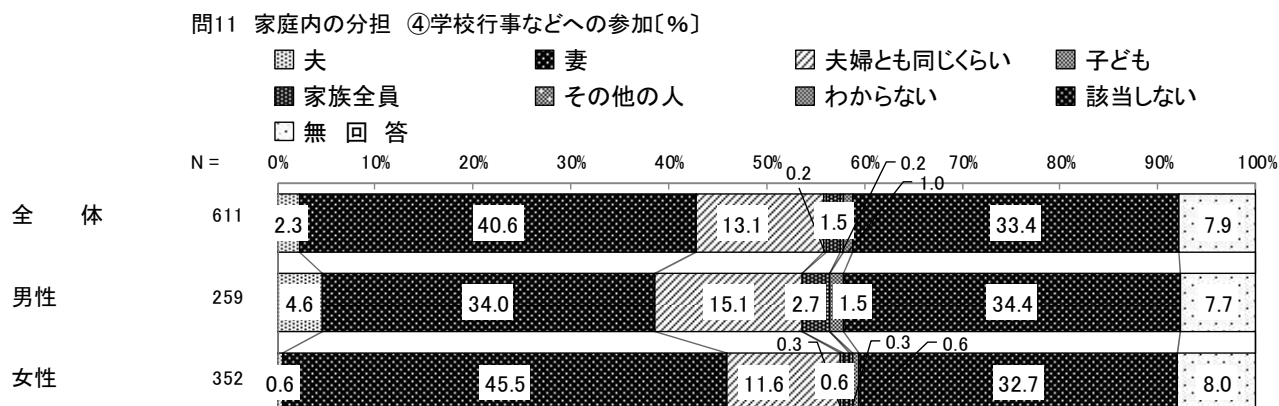
(単位:%)

		夫	妻	夫婦とも同 じくらい	子ども	家族全員	その他の人	わからない	該当しない	無回答
今回調査	全体	1.6	25.5	11.1	-	2.8	1.5	1.6	47.1	8.7
	男性	1.9	18.9	14.7	-	2.7	1.9	2.7	49.8	7.3
	女性	1.4	30.4	8.5	-	2.8	1.1	0.9	45.2	9.7
前回調査	全体	2.0	29.1	12.3	0.2	3.0	3.0	17.0	-	33.6
	男性	3.4	20.8	14.0	0.5	3.4	2.9	17.9	-	37.2
	女性	0.7	34.9	11.2	0.0	2.7	3.1	16.6	-	30.8
県調査	全体	1.3	65.8	28.2	-	-	4.7	-	-	-
	男性	1.9	55.1	38.9	-	-	4.2	-	-	-
	女性	0.9	73.2	21.1	-	-	4.8	-	-	-

④ 学校行事などへの参加

全体では、「妻」が40.6%と多く、「夫婦とも同じくらい」が13.1%と続いている。

性別では、男性は「妻」が34.0%で、女性は45.5%と多い。「夫婦とも同じくらい」は、男性が15.1%と女性よりやや多くなっている。



【詳細分析】

年齢×性別では、「妻」は40歳代でみると男性が60.4%、女性は75.3%と多くなっている。「夫」は30歳代の男性で13.8%と多い。

世帯構成別では、『親と子供、夫婦とその親（2世代）』で「妻」が52.8%と多く、『親と子と孫など（3世代）』で「夫婦とも同じくらい」が25.8%と多い。

共働き状況別では、「妻」は『共働きである』（47.1%）が『共働きでない』（31.0%）を上回っている。

子どもの有無別では、「妻」は『中学生以上18歳未満の子どもがいる』（81.3%）と『小学生の子どもがいる』（72.8%）で多い。

(単位：人、%)

		合計	夫	妻	夫婦とも同 じくらい	子ども	家族全員	その他の人	わからない	該当しない	無回答
全体		611	2.3	40.6	13.1	0.2	1.5	0.2	1.0	33.4	7.9
年齢×性別	18～29歳-男性	5	-	-	-	-	20.0	-	20.0	60.0	-
	18～29歳-女性	12	-	33.3	8.3	-	-	-	-	58.3	-
	30歳代-男性	29	13.8	34.5	10.3	-	6.9	-	3.4	31.0	-
	30歳代-女性	41	-	51.2	19.5	-	2.4	-	4.9	22.0	-
	40歳代-男性	48	-	60.4	22.9	-	2.1	-	2.1	12.5	-
	40歳代-女性	73	-	75.3	15.1	-	-	-	-	6.8	2.7
	50歳代-男性	65	4.6	36.9	16.9	-	-	-	-	32.3	9.2
	50歳代-女性	89	2.2	47.2	11.2	-	-	-	-	34.8	4.5
	60歳以上-男性	112	4.5	22.3	12.5	-	2.7	-	0.9	44.6	12.5
60歳以上-女性	137	-	27.7	8.0	0.7	0.7	0.7	-	46.0	16.1	
世帯構成	一人暮らし	2	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	夫婦（事実婚を含む）のみ	211	2.8	23.2	8.5	0.5	1.4	0.5	-	51.2	11.8
	親と子供、夫婦とその親（2世代）	269	1.9	52.8	14.9	-	1.1	-	0.7	23.0	5.6
	親と子と孫など（3世代）	62	3.2	37.1	25.8	-	3.2	-	3.2	24.2	3.2
その他	65	1.5	49.2	9.2	-	1.5	-	3.1	26.2	9.2	
共働き	共働きである	374	2.4	47.1	15.2	-	1.1	0.3	1.1	27.3	5.6
	共働きではない	226	2.2	31.0	9.7	0.4	2.2	-	0.4	43.8	10.2
子どもの有無	小学校入学前の子どもがいる	85	1.2	48.2	24.7	-	4.7	-	3.5	16.5	1.2
	小学生の子どもがいる	81	4.9	72.8	19.8	-	1.2	-	1.2	-	-
	中学生以上18歳未満の子どもがいる	91	1.1	81.3	13.2	-	1.1	-	1.1	-	2.2
	18歳以上の子どもがいる	386	2.3	36.5	12.4	0.3	1.0	0.3	0.3	37.8	9.1
	いない	56	1.8	3.6	1.8	-	-	-	-	75.0	17.9

<県調査との比較>

県調査との比較では、県では「わからない」「該当しない」という選択肢がないため、比較が難しい。

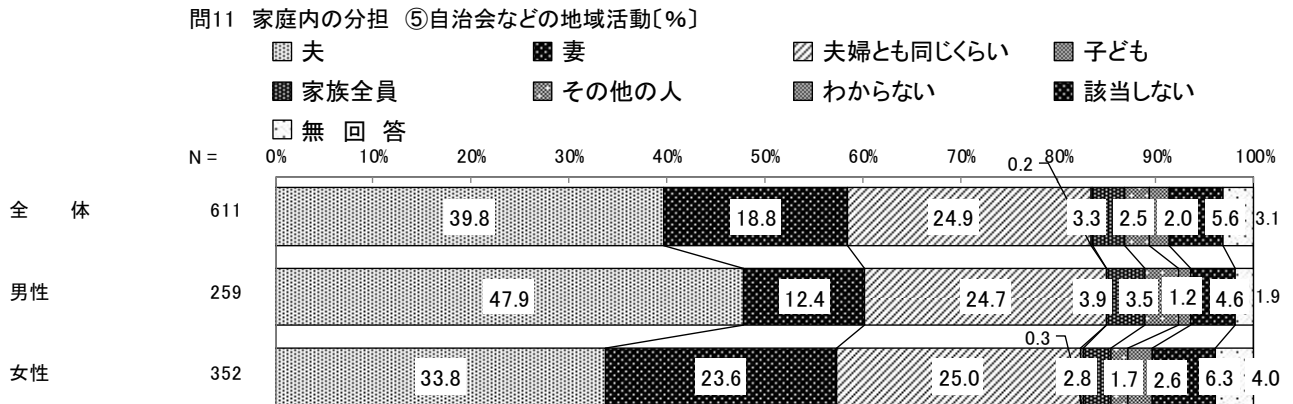
(単位：%)

		夫	妻	夫婦とも同 じくらい	子ども	家族全員	その他の人	わからない	該当しない	無回答
今回調査	全体	2.3	40.6	13.1	0.2	1.5	0.2	1.0	33.4	7.9
	男性	4.6	34.0	15.1	-	2.7	-	1.5	34.4	7.7
	女性	0.6	45.5	11.6	0.3	0.6	0.3	0.6	32.7	8.0
県調査	全体	31.6	28.0	37.8	-	-	2.6	-	-	-
	男性	42.4	16.6	39.6	-	-	1.4	-	-	-
	女性	24.2	35.5	36.9	-	-	3.4	-	-	-

⑤ 自治会などの地域活動

全体では、「夫」が39.8%と最も多く、「夫婦とも同じくらい」が24.9%、「妻」が18.8%と続いている。

性別では、男性で「夫」が多く47.9%、女性では「夫」が33.8%、「妻」が23.6%となっている。



【詳細分析】

年齢×性別では、「夫」は60歳以上の男性で53.6%と多く、「妻」は40歳代の女性で31.5%と多い。

世帯構成別では、『夫婦（事実婚を含む）のみ』で、「夫」が43.1%とやや多い。

共働き状況別では、『共働きである』で、「夫婦とも同じくらい」が27.0%とやや多い。

(単位：人、%)

	合計	夫	妻	夫婦とも同じくらい	子ども	家族全員	その他の人	わからない	該当しない	無回答
全体	611	39.8	18.8	24.9	0.2	3.3	2.5	2.0	5.6	3.1
年齢×性別	18～29歳-男性	5	20.0	-	-	20.0	-	-	60.0	-
	18～29歳-女性	12	25.0	8.3	8.3	-	8.3	8.3	41.7	-
	30歳代-男性	29	37.9	10.3	13.8	-	3.4	24.1	3.4	6.9
	30歳代-女性	41	17.1	26.8	17.1	-	7.3	4.9	7.3	19.5
	40歳代-男性	48	43.8	20.8	22.9	-	6.3	2.1	-	4.2
	40歳代-女性	73	26.0	31.5	26.0	-	5.5	2.7	1.4	5.5
	50歳代-男性	65	47.7	10.8	33.8	-	3.1	-	-	1.5
	50歳代-女性	89	34.8	23.6	31.5	-	2.2	1.1	1.1	2.2
	60歳以上-男性	112	53.6	10.7	24.1	-	2.7	0.9	1.8	3.6
60歳以上-女性	137	43.1	19.7	24.1	0.7	0.7	-	2.2	2.2	
世帯構成	一人暮らし	2	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-
	夫婦（事実婚を含む）のみ	211	43.1	14.7	23.7	-	1.9	0.9	2.8	7.6
	親と子供、夫婦とその親（2世代）	269	34.6	23.4	27.1	-	3.0	3.0	1.5	5.2
	親と子と孫など（3世代）	62	40.3	19.4	16.1	-	11.3	6.5	3.2	-
	その他	65	52.3	9.2	29.2	1.5	1.5	1.5	-	4.6
共働き	共働きである	374	38.8	19.5	27.0	0.3	2.9	2.7	2.1	5.3
	共働きではない	226	41.6	18.1	21.2	-	3.5	2.2	1.8	6.2

<県調査との比較>

県調査との比較では、県では「わからない」「該当しない」という選択肢がないため、比較が難しいものの、「夫婦とも同じくらい」は県（37.8%）が本市（24.9%）を上回っている。

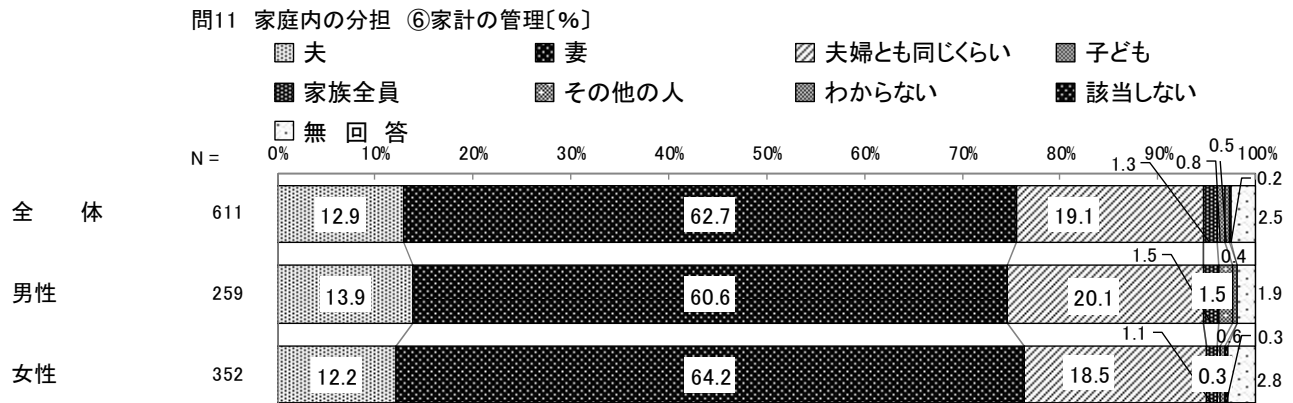
（単位：％）

		夫	妻	夫婦とも同じくらい	子ども	家族全員	その他の人	わからない	該当しない	無回答
今回調査	全体	39.8	18.8	24.9	0.2	3.3	2.5	2.0	5.6	3.1
	男性	47.9	12.4	24.7	-	3.9	3.5	1.2	4.6	1.9
	女性	33.8	23.6	25.0	0.3	2.8	1.7	2.6	6.3	4.0
県調査	全体	31.6	28.0	37.8	-	-	2.6	-	-	-
	男性	42.4	16.6	39.6	-	-	1.4	-	-	-
	女性	24.2	35.5	36.9	-	-	3.4	-	-	-

⑥ 家計の管理

全体では、「妻」が62.7%と最も多く、「夫婦とも同じくらい」が19.1%、「夫」が12.9%と続いている。

性別では、男性・女性ともに「妻」が最も多く、男性で60.6%、女性は64.2%とやや多い。



【詳細分析】

年齢×性別では、18～29歳は「夫婦とも同じくらい」が男女ともに多く、男性で40.0%、女性で33.3%となっている。40歳代以上は男女ともに「妻」が60%を超えて多い。

(単位：人、%)

		合計	夫	妻	夫婦とも同じくらい	子ども	家族全員	その他の人	わからない	該当しない	無回答
全体		611	12.9	62.7	19.1	-	1.3	0.8	0.5	0.2	2.5
年齢×性別	18～29歳-男性	5	20.0	20.0	40.0	-	-	20.0	-	-	-
	18～29歳-女性	12	16.7	41.7	33.3	-	-	8.3	-	-	-
	30歳代-男性	29	17.2	58.6	24.1	-	-	-	-	-	-
	30歳代-女性	41	22.0	61.0	12.2	-	-	-	2.4	2.4	-
	40歳代-男性	48	16.7	64.6	14.6	-	2.1	2.1	-	-	-
	40歳代-女性	73	9.6	65.8	23.3	-	-	-	-	-	1.4
	50歳代-男性	65	10.8	61.5	21.5	-	-	3.1	-	-	3.1
	50歳代-女性	89	9.0	62.9	21.3	-	2.2	-	1.1	-	3.4
	60歳以上-男性	112	13.4	60.7	19.6	-	2.7	-	0.9	-	2.7
	60歳以上-女性	137	12.4	67.2	14.6	-	1.5	-	-	-	4.4

＜県調査との比較＞

県調査との比較では、県では「わからない」「該当しない」という選択肢がないため、比較が難しい。

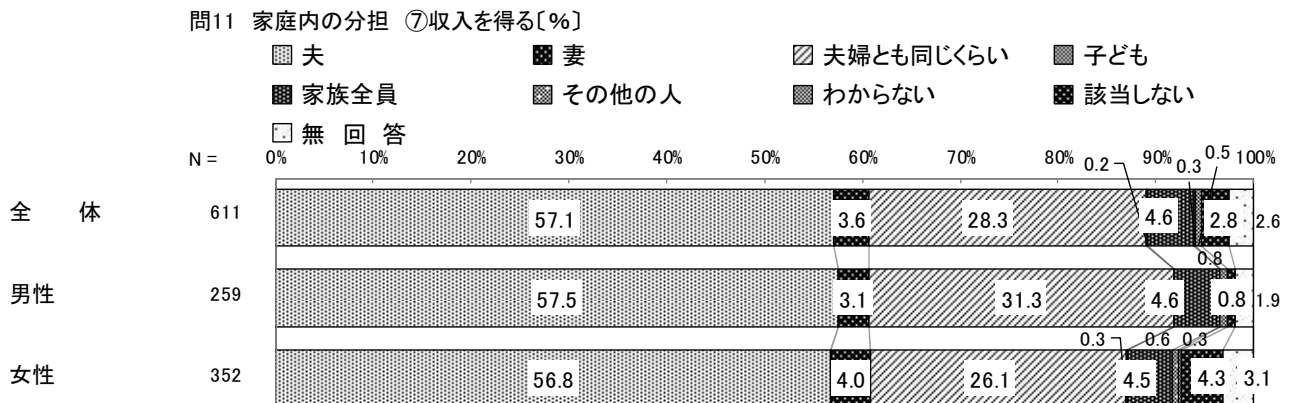
(単位：%)

		夫	妻	夫婦とも同じくらい	子ども	家族全員	その他の人	わからない	該当しない	無回答
今回調査	全体	12.9	62.7	19.1	-	1.3	0.8	0.5	0.2	2.5
	男性	13.9	60.6	20.1	-	1.5	1.5	0.4	-	1.9
	女性	12.2	64.2	18.5	-	1.1	0.3	0.6	0.3	2.8
県調査	全体	10.4	67.8	20.4	-	-	1.5	-	-	-
	男性	13.2	61.9	23.8	-	-	1.1	-	-	-
	女性	8.6	71.7	17.9	-	-	1.8	-	-	-

⑦ 収入を得る

全体では、「夫」が57.1%と多く、次いで「夫婦とも同じくらい」が28.3%である。

性別では、男性で「夫婦とも同じくらい」が31.3%とやや多い。



【詳細分析】

年齢×性別では、「夫」は30歳代の女性で80.5%と多い。

就業状況別では、「夫婦とも同じくらい」は『会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人』で39.6%と多く、「家族全員」は『農林漁業の自営業主または家族従業員』で25.0%と多い。

(単位：人、%)

	合計	夫	妻	夫婦とも同じくらい	子ども	家族全員	その他の人	わからない	該当しない	無回答	
全体	611	57.1	3.6	28.3	0.2	4.6	0.3	0.5	2.8	2.6	
年齢×性別	18～29歳-男性	5	20.0	-	60.0	-	20.0	-	-	-	
	18～29歳-女性	12	66.7	8.3	25.0	-	-	-	-	-	
	30歳代-男性	29	65.5	-	34.5	-	-	-	-	-	
	30歳代-女性	41	80.5	-	12.2	-	-	2.4	2.4	2.4	
	40歳代-男性	48	66.7	-	29.2	-	2.1	-	2.1	-	
	40歳代-女性	73	69.9	-	28.8	-	-	-	-	1.4	
	50歳代-男性	65	63.1	3.1	27.7	-	3.1	-	-	3.1	
	50歳代-女性	89	44.9	4.5	37.1	-	9.0	-	-	1.1	3.4
	60歳以上-男性	112	50.0	5.4	32.1	-	7.1	-	0.9	1.8	2.7
	60歳以上-女性	137	49.6	6.6	21.9	0.7	5.8	0.7	-	9.5	5.1
就業状況	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	227	52.9	3.1	39.6	-	3.1	-	0.4	0.4	0.4
	パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）	143	56.6	4.2	28.7	-	4.9	1.4	-	1.4	2.8
	農林漁業の自営業主または家族従業員	24	41.7	-	29.2	-	25.0	-	4.2	-	-
	商工業などの自営業主または家族従業員	33	69.7	-	30.3	-	-	-	-	-	-
	自由業	21	47.6	9.5	19.0	-	9.5	-	-	4.8	9.5
	学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	18	55.6	5.6	38.9	-	-	-	-	-	-
	していない、または、以前はしていたが、現在はしていない	137	67.2	4.4	8.8	0.7	3.6	-	-	9.5	5.8

<県調査との比較>

県調査との比較では、県では「わからない」「該当しない」という選択肢がないため、比較が難しいものの、「夫」は本市では男女とも同程度だが、県は男性が63.5%、女性は53.1%と男女差がみられる。

(単位:%)

		夫	妻	夫婦とも同 じくらい	子ども	家族全員	その他の人	わからない	該当しない	無回答
今回調査	全体	57.1	3.6	28.3	0.2	4.6	0.3	0.5	2.8	2.6
	男性	57.5	3.1	31.3	-	4.6	-	0.8	0.8	1.9
	女性	56.8	4.0	26.1	0.3	4.5	0.6	0.3	4.3	3.1
県調査	全体	57.3	7.9	32.3	-	-	2.5	-	-	-
	男性	63.5	4.0	30.7	-	-	1.9	-	-	-
	女性	53.1	10.2	33.6	-	-	3.1	-	-	-

2-4 男女共同参画社会に関する意識について

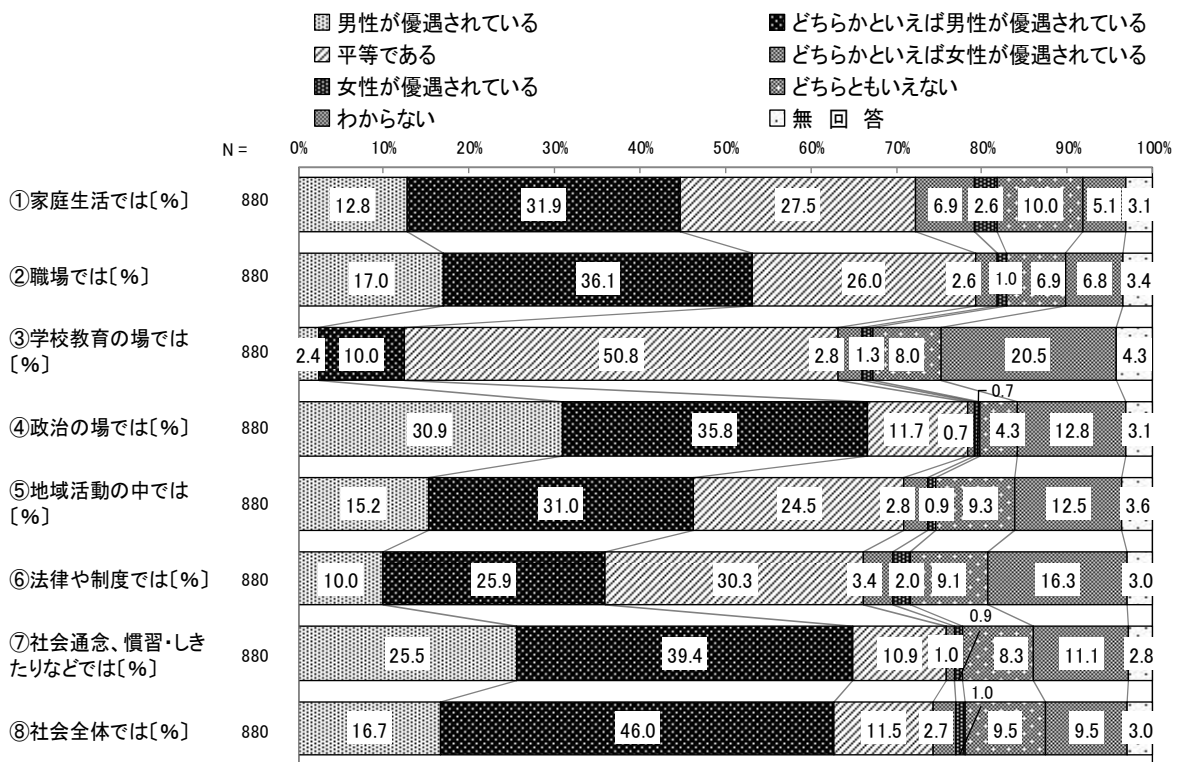
問 12 現在の社会において、次の①～⑧の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。

<全体>

『平等』（「平等である」以下同様）については、学校教育の場（50.8%）が最も多く、法律や制度（30.3%）、家庭生活（27.5%）が続いている。最も少ないのは社会通念、慣習・しきたりなど（10.9%）である。

『男性優遇』（「男性が優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」の計）については、政治の場（66.7%）、社会通念、慣習・しきたりなど（64.9%）、社会全体（62.7%）が60%を超えて多い。

『女性優遇』（「女性が優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」の計）については、家庭生活（9.5%）が最も多く、法律や制度（5.4%）が続いており、いずれも10%に満たない。



(単位: %)

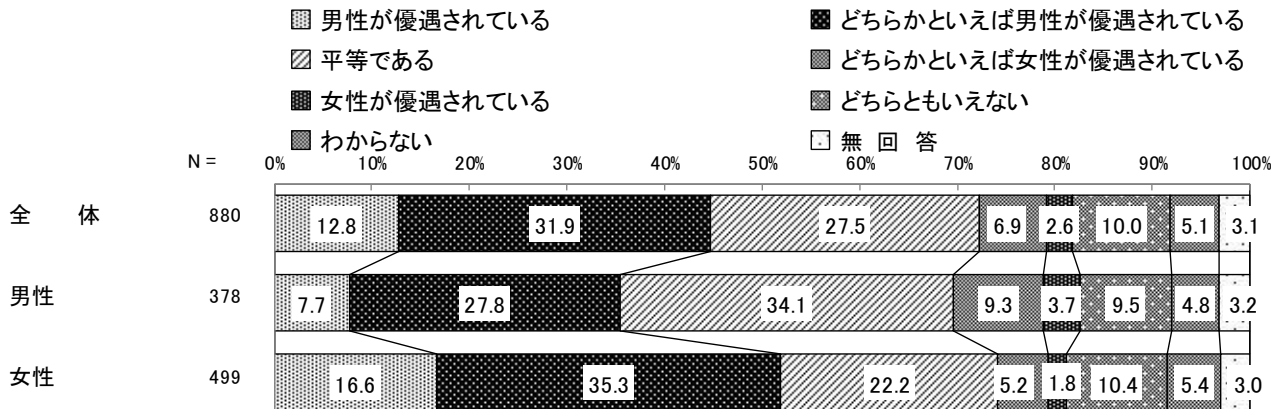
順位	『男性優遇』		『平等』		『女性優遇』	
1	政治の場	66.7	学校教育の場	50.8	家庭生活	9.5
2	社会通念、慣習・しきたりなど	64.9	法律や制度	30.3	法律や制度	5.4
3	社会全体	62.7	家庭生活	27.5	学校教育の場	4.1
4	職場	53.1	職場	26.0	地域活動の中、社会全体	3.7
5	地域活動の中	46.2	地域活動の中	24.5		
6	家庭生活	44.7	政治の場	11.7	職場	3.6
7	法律や制度	35.9	社会全体	11.5	社会通念、慣習・しきたりなど	1.9
8	学校教育の場	12.4	社会通念、慣習・しきたりなど	10.9	政治の場	1.4

① 家庭生活では

全体では、「男性が優遇されている」が12.8%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が31.9%で、『男性優遇』が44.7%と多く、『平等』は27.5%である。

性別では、男性で「男性が優遇されている」が7.7%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が27.8%で、『男性優遇』が35.5%、『平等』が34.1%と同程度である。女性は「男性が優遇されている」が16.6%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が35.3%で、『男性が優遇されていると思う』が51.9%と多く、『平等』は22.2%と少ない。

問12 ①家庭生活では[%]



(単位:人、%)

	合計	『男性優遇』	『平等』	『女性優遇』
全体	880	44.7	27.5	9.5
男性	378	35.5	34.1	13.0
女性	499	51.9	22.2	7.0

【詳細分析】

年齢×性別では、「どちらかといえば男性が優遇されている」は50歳代の女性で45.2%、「男性が優遇されている」は40歳代の女性で21.9%と多い。「平等である」は60歳以上の男性で39.1%と多い。18～29歳の男性は「女性が優遇されている」(9.3%)と「どちらともいえない」(27.9%)が多い。

(単位:人、%)

		合計	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	どちらともいえない	わからない	無回答
全体		880	12.8	31.9	27.5	6.9	2.6	10.0	5.1	3.1
年齢×性別	18～29歳-男性	43	-	20.9	18.6	7.0	9.3	27.9	14.0	2.3
	18～29歳-女性	52	11.5	30.8	26.9	9.6	3.8	11.5	5.8	-
	30歳代-男性	46	15.2	15.2	28.3	13.0	4.3	13.0	8.7	2.2
	30歳代-女性	62	11.3	32.3	21.0	4.8	3.2	9.7	14.5	3.2
	40歳代-男性	68	4.4	27.9	33.8	14.7	4.4	8.8	1.5	4.4
	40歳代-女性	96	21.9	33.3	25.0	3.1	2.1	9.4	5.2	-
	50歳代-男性	83	9.6	24.1	37.3	10.8	3.6	6.0	3.6	4.8
	50歳代-女性	115	14.8	45.2	15.7	6.1	0.9	10.4	3.5	3.5
	60歳以上-男性	138	8.0	36.2	39.1	5.1	1.4	5.1	2.9	2.2
	60歳以上-女性	174	18.4	32.2	24.1	4.6	1.1	10.9	3.4	5.2

<前回調査・国調査との比較>

前回調査との比較では、今回調査で「どちらともいえない」という選択肢が増えたため、「どちらともいえない」が10.0%と比較が難しいが、「平等である」は前回と同程度の割合である。

国調査との比較でも、国では「どちらともいえない」がないため、比較が難しい。

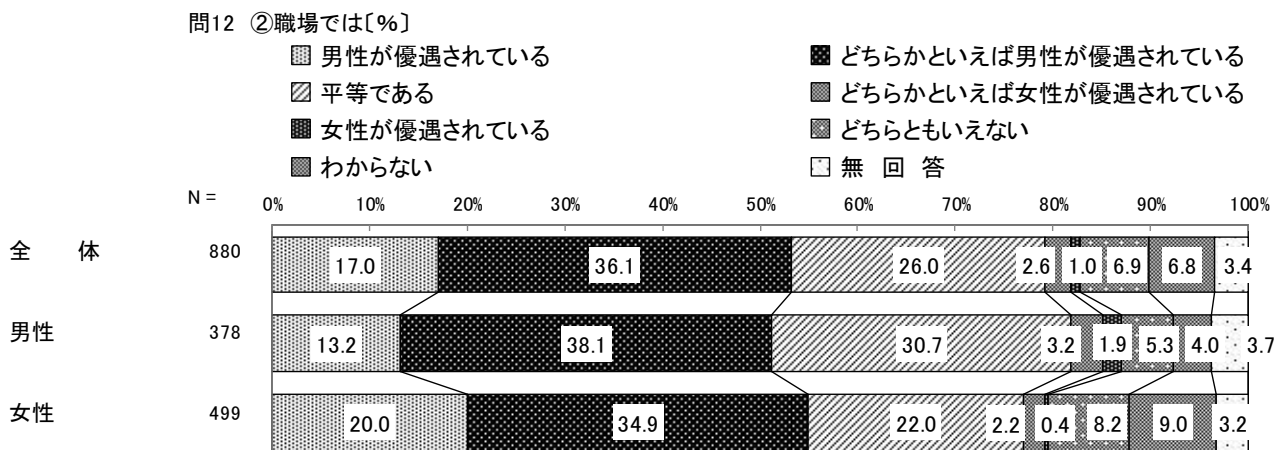
(単位:%)

		男性が優遇され	どちらかといえ ば男性が優遇さ れている	平等である	どちらかといえ ば女性が優遇さ れている	女性が優遇され	どちらともい えない	わからない	無回答
今回調査	全体	12.8	31.9	27.5	6.9	2.6	10.0	5.1	3.1
	男性	7.7	27.8	34.1	9.3	3.7	9.5	4.8	3.2
	女性	16.6	35.3	22.2	5.2	1.8	10.4	5.4	3.0
前回調査	全体	12.2	38.4	28.4	6.4	2.7	-	5.0	7.0
	男性	6.8	34.6	36.6	7.2	2.7	-	3.4	8.6
	女性	16.0	41.7	22.0	5.9	2.7	-	5.7	5.9
国調査	全体	7.8	35.7	47.4	5.9	0.8	-	2.4	-
	男性	5.6	29.8	53.8	7.1	1.4	-	2.3	-
	女性	9.6	40.7	41.9	5.0	0.4	-	2.5	-

② 職場では

全体では、「男性が優遇されている」が17.0%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が36.1%で、『男性優遇』が53.1%と半数を超えている。『平等』は26.0%である。

性別では、男性で「男性が優遇されている」が13.2%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が38.1%で、『男性優遇』が51.3%、女性は「男性が優遇されている」が20.0%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が34.9%で、『男性優遇』が54.9%と差異は小さいが、男性は『平等』が30.7%と女性より多い。



(単位:人、%)

	合計	『男性優遇』	『平等』	『女性優遇』
全体	880	53.1	26.0	3.6
男性	378	51.3	30.7	5.1
女性	499	54.9	22.0	2.6

【詳細分析】

年齢×性別では、「平等である」は、男性の50歳代、60歳以上はともに30%強と多い。『男性優遇』は、女性の30歳代で67.8%と特に多い。

就業状況別では、「平等である」は、自由業と会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人でそれぞれ34.6%、33.9%と多い。

(単位：人、%)

	合計	男性が優遇されている	どち らとも いえない	平等である	どち らとも いえない	女性が優遇されている	どち らとも いえない	わからない	無回答	
全体	880	17.0	36.1	26.0	2.6	1.0	6.9	6.8	3.4	
年齢×性別	18～29歳-男性	43	16.3	30.2	23.3	4.7	-	14.0	9.3	2.3
	18～29歳-女性	52	15.4	38.5	26.9	5.8	-	3.8	9.6	-
	30歳代-男性	46	17.4	43.5	28.3	-	2.2	2.2	4.3	2.2
	30歳代-女性	62	19.4	48.4	21.0	3.2	-	1.6	4.8	1.6
	40歳代-男性	68	16.2	45.6	22.1	2.9	-	8.8	-	4.4
	40歳代-女性	96	26.0	30.2	20.8	4.2	1.0	8.3	8.3	1.0
	50歳代-男性	83	12.0	34.9	34.9	3.6	6.0	2.4	1.2	4.8
	50歳代-女性	115	18.3	38.3	22.6	1.7	0.9	10.4	5.2	2.6
	60歳以上-男性	138	10.1	37.0	35.5	3.6	0.7	3.6	5.8	3.6
60歳以上-女性	174	19.5	29.3	21.3	-	-	10.3	13.2	6.3	
就業状況	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	342	17.5	35.7	33.9	3.8	0.9	4.1	2.0	2.0
	パートタイマーやアルバイトの勤め人（学生のアルバイトを除く）	182	12.1	34.1	28.0	1.6	0.5	14.3	6.6	2.7
	農林漁業の自営業主または家族従業員	26	15.4	34.6	23.1	-	-	3.8	23.1	-
	商工業などの自営業主または家族従業員	44	13.6	43.2	20.5	-	2.3	9.1	6.8	4.5
	自由業	26	7.7	26.9	34.6	3.8	3.8	-	11.5	11.5
	学生	9	22.2	33.3	11.1	11.1	-	22.2	-	-
	その他	25	24.0	28.0	28.0	-	8.0	4.0	4.0	4.0
していない、または、以前はしていたが、現在はしていない	210	22.4	40.0	11.4	2.4	0.5	5.7	13.3	4.3	

＜前回調査・国調査との比較＞

前回調査との比較では、今回調査で「どちらともいえない」という選択肢が増えたため、「どちらともいえない」が6.9%と比較が難しいが、「平等である」が今回（26.0%）は前回（21.4%）を上回っている。

国調査との比較でも同様に、国では「どちらともいえない」がないため、比較が難しい。

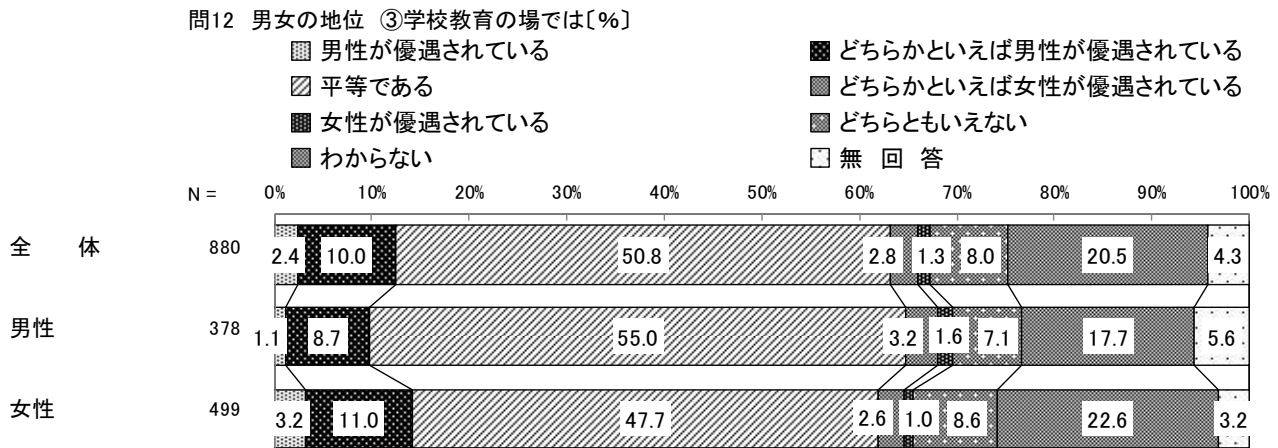
(単位：%)

		男性が優遇されている	どち らとも いえない	平等である	どち らとも いえない	女性が優遇されている	どち らとも いえない	わからない	無回答
今回調査	全体	17.0	36.1	26.0	2.6	1.0	6.9	6.8	3.4
	男性	13.2	38.1	30.7	3.2	1.9	5.3	4.0	3.7
	女性	20.0	34.9	22.0	2.2	0.4	8.2	9.0	3.2
前回調査	全体	15.6	43.3	21.4	3.1	0.9	-	8.0	7.7
	男性	9.6	43.2	24.7	4.5	1.7	-	7.9	8.6
	女性	20.0	43.7	19.3	2.2	0.2	-	7.7	6.9
国調査	全体	15.1	41.5	29.7	4.1	0.6	-	9.0	-
	男性	13.3	42.0	31.6	5.3	0.9	-	6.8	-
	女性	16.7	41.0	28.2	3.0	0.4	-	10.8	-

③ 学校教育の場では

全体では、『平等』が50.8%と多い。各分野の中で『平等』が最も多い。「男性が優遇されている」が2.4%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が10.0%で、『男性優遇』は12.4%である。

性別では、女性で「男性が優遇されている」が3.2%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が11.0%で、『男性優遇』が14.2%とやや多い。



(単位:人、%)

	合計	『男性優遇』	『平等』	『女性優遇』
全体	880	12.4	50.8	4.1
男性	378	9.8	55.0	4.8
女性	499	14.2	47.7	3.6

【詳細分析】

年齢×性別では、「平等である」は、男性の50歳代と女性の40歳代で60%を超えて多く、女性の60歳以上で35.6%と少ない。

(単位:人、%)

	合計	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	どちらともいえない	わからない	無回答	
全体	880	2.4	10.0	50.8	2.8	1.3	8.0	20.5	4.3	
年齢×性別	18～29歳-男性	43	-	11.6	44.2	9.3	-	18.6	14.0	2.3
	18～29歳-女性	52	1.9	11.5	59.6	3.8	3.8	7.7	11.5	-
	30歳代-男性	46	2.2	13.0	56.5	2.2	2.2	4.3	19.6	-
	30歳代-女性	62	-	21.0	40.3	4.8	1.6	6.5	24.2	1.6
	40歳代-男性	68	-	8.8	55.9	-	2.9	11.8	16.2	4.4
	40歳代-女性	96	3.1	7.3	61.5	2.1	-	8.3	16.7	1.0
	50歳代-男性	83	1.2	4.8	68.7	2.4	1.2	2.4	13.3	6.0
	50歳代-女性	115	4.3	10.4	53.0	1.7	-	7.0	21.7	1.7
	60歳以上-男性	138	1.4	8.7	49.3	3.6	1.4	5.1	21.7	8.7
	60歳以上-女性	174	4.0	9.8	35.6	2.3	1.1	10.9	29.3	6.9

<前回調査・国調査との比較>

前回調査との比較では、今回調査で「どちらともいえない」という選択肢が増えたため、「どちらともいえない」が8.0%と比較が難しいが、「平等である」が今回（50.8%）は前回（51.4%）と同程度の割合である。

国調査との比較でも、国では「どちらともいえない」がないため、比較が難しい。

(単位:%)

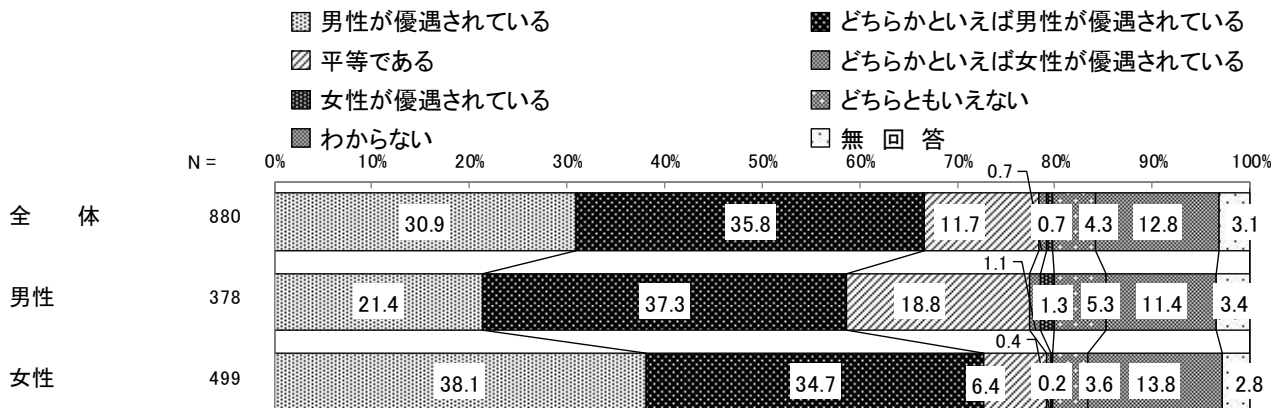
		男性が優遇さ	見えど えれば 男性が 優遇さ	平等 である	見えど えれば 女性が 優遇さ	女性 が優 遇さ	ど ちら とも い え な い	わ か ら な い	無 回 答
今 回 調 査	全 体	2.4	10.0	50.8	2.8	1.3	8.0	20.5	4.3
	男 性	1.1	8.7	55.0	3.2	1.6	7.1	17.7	5.6
	女 性	3.2	11.0	47.7	2.6	1.0	8.6	22.6	3.2
前 回 調 査	全 体	2.1	12.9	51.4	3.6	0.7	-	19.5	9.8
	男 性	2.1	9.2	55.1	6.2	1.0	-	16.1	10.3
	女 性	2.2	15.6	49.4	1.7	0.5	-	21.2	9.4
国 調 査	全 体	2.5	13.5	66.4	2.9	0.3	-	14.4	-
	男 性	1.6	11.0	70.1	3.1	0.4	-	13.7	-
	女 性	3.1	15.6	63.3	2.7	0.2	-	15.0	-

④ 政治の場では

全体では、「男性が優遇されている」が30.9%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が35.8%で、『男性優遇』が66.7%と多く、『平等』は11.7%である。

性別では、男性では「男性が優遇されている」が21.4%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が37.3%で、『平等』が18.8%だが、女性は「男性が優遇されている」が38.1%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が34.7%で、『男性優遇』が72.8%と多くなり、『平等』は6.4%と少ない。

問12 ④政治の場では[%]



(単位:人、%)

	合計	『男性優遇』	『平等』	『女性優遇』
全体	880	66.7	11.7	1.4
男性	378	58.7	18.8	2.4
女性	499	72.8	6.4	0.6

【詳細分析】

年齢×性別では、「男性が優遇されている」は、50歳代で女性が43.5%と多く、男性が13.3%と少ない。

(単位:人、%)

	合計	男性が優遇されている	男性が優遇されているかという意見	平等である	男性が優遇されているかという意見	女性が優遇されている	どちらともいえない	わからない	無回答	
全体	880	30.9	35.8	11.7	0.7	0.7	4.3	12.8	3.1	
年齢×性別	18～29歳-男性	43	20.9	32.6	16.3	-	2.3	11.6	14.0	2.3
	18～29歳-女性	52	38.5	32.7	5.8	-	-	5.8	17.3	-
	30歳代-男性	46	39.1	28.3	10.9	4.3	2.2	-	13.0	2.2
	30歳代-女性	62	41.9	38.7	1.6	-	-	-	16.1	1.6
	40歳代-男性	68	20.6	47.1	10.3	1.5	-	4.4	11.8	4.4
	40歳代-女性	96	42.7	34.4	9.4	-	-	4.2	9.4	-
	50歳代-男性	83	13.3	44.6	26.5	1.2	-	4.8	6.0	3.6
	50歳代-女性	115	43.5	32.2	3.5	0.9	-	3.5	13.9	2.6
	60歳以上-男性	138	21.0	32.6	21.7	-	2.2	5.8	13.0	3.6
60歳以上-女性	174	30.5	35.6	8.6	0.6	0.6	4.0	14.4	5.7	

<前回調査・国調査との比較>

前回調査との比較では、今回調査で「どちらともいえない」という選択肢が増えたため、「どちらともいえない」が4.3%と比較が難しい。

国調査との比較でも同様に、国では「どちらともいえない」がないため、比較が難しいが、「平等である」は男性で国は24.0%と多い。

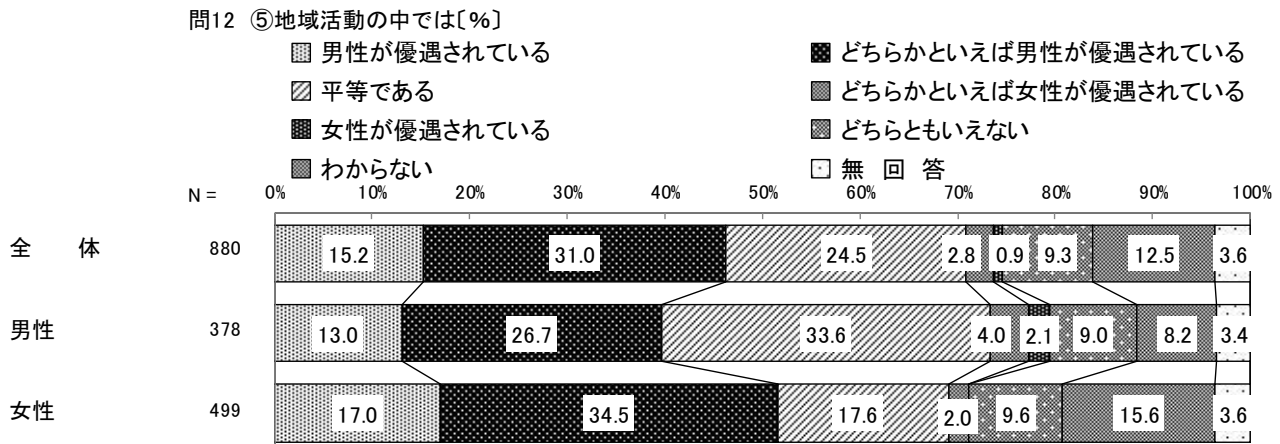
(単位:%)

		男性が優遇さ	遇えど さば れど ち ら か と 優 い	平 等 で あ る	遇えど さば れど ち ら か と 優 い	女 性 が 優 遇 さ	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い	無 回 答
今 回 調 査	全 体	30.9	35.8	11.7	0.7	0.7	4.3	12.8	3.1
	男 性	21.4	37.3	18.8	1.1	1.3	5.3	11.4	3.4
	女 性	38.1	34.7	6.4	0.4	0.2	3.6	13.8	2.8
前 回 調 査	全 体	27.6	39.8	11.2	0.6	-	-	13.4	7.5
	男 性	17.1	42.1	17.5	1.0	-	-	13.7	8.6
	女 性	35.3	38.0	6.9	0.2	-	-	12.8	6.7
国 調 査	全 体	27.1	46.3	18.9	2.0	0.3	-	5.4	-
	男 性	23.7	44.4	24.0	2.8	0.4	-	4.6	-
	女 性	30.0	47.9	14.6	1.2	0.2	-	6.0	-

⑤ 地域活動の中では

全体では、「男性が優遇されている」が15.2%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が31.0%で、『男性優遇』が46.2%と多く、『平等』は24.5%である。

性別では、男性では「男性が優遇されている」が13.0%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が26.7%で、『男性優遇』が39.7%と少なく、『平等』が33.6%と多いが、女性は「男性が優遇されている」が17.0%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が34.5%で、『男性優遇』が51.5%と多く、『平等』は17.6%である。



(単位:人、%)

	合計	『男性優遇』	『平等』	『女性優遇』
全体	880	46.2	24.5	3.7
男性	378	39.7	33.6	6.1
女性	499	51.5	17.6	11.6

【詳細分析】

年齢×性別では、「平等である」は、60歳以上では男性で34.1%だが、女性で13.2%と少ない。

(単位:人、%)

		合計	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	どちらともいえない	わからない	無回答
全体		880	15.2	31.0	24.5	2.8	0.9	9.3	12.5	3.6
年齢×性別	18～29歳-男性	43	9.3	27.9	27.9	9.3	-	4.7	16.3	4.7
	18～29歳-女性	52	9.6	26.9	26.9	1.9	-	13.5	21.2	-
	30歳代-男性	46	13.0	23.9	32.6	4.3	2.2	4.3	19.6	-
	30歳代-女性	62	11.3	40.3	14.5	-	-	9.7	21.0	3.2
	40歳代-男性	68	5.9	23.5	36.8	5.9	1.5	14.7	7.4	4.4
	40歳代-女性	96	15.6	31.3	22.9	3.1	-	9.4	16.7	1.0
	50歳代-男性	83	10.8	32.5	33.7	3.6	3.6	9.6	2.4	3.6
	50歳代-女性	115	21.7	38.3	17.4	1.7	-	6.1	12.2	2.6
	60歳以上-男性	138	18.8	25.4	34.1	1.4	2.2	8.7	5.8	3.6
60歳以上-女性	174	19.0	33.9	13.2	2.3	-	10.9	13.8	6.9	

<前回調査・国調査との比較>

前回調査との比較では、今回調査で「どちらともいえない」という選択肢が増えたため、「どちらともいえない」が9.3%と比較が難しい。

国調査との比較でも同様に、国では「どちらともいえない」がないため、比較が難しいが、「平等である」は国では全体（47.2%）、男性（50.0%）、女性（44.8%）と多い。

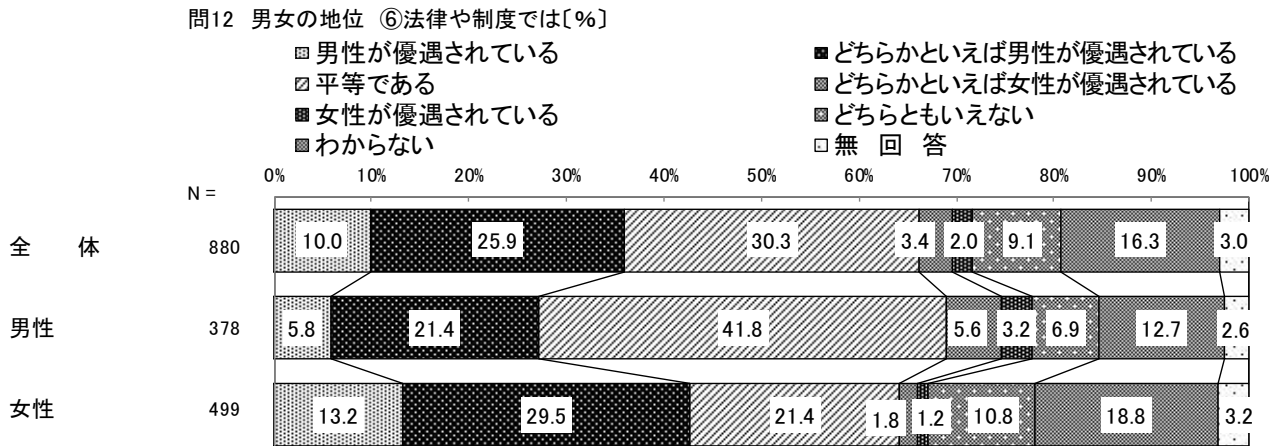
(単位:%)

		男性が優遇さ	見えど さば れ男 性か と る 優 い	平 等 で あ る	見えど さば れ女 性か と る 優 い	女 性 が 優 遇 さ	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い	無 回 答
今 回 調 査	全体	15.2	31.0	24.5	2.8	0.9	9.3	12.5	3.6
	男性	13.0	26.7	33.6	4.0	2.1	9.0	8.2	3.4
	女性	17.0	34.5	17.6	2.0	-	9.6	15.6	3.6
前 回 調 査	全体	12.5	33.9	27.0	5.4	0.1	-	12.2	8.8
	男性	9.6	30.5	31.5	7.9	-	-	11.0	9.6
	女性	14.8	36.3	23.7	3.7	0.2	-	13.1	8.1
国 調 査	全体	6.8	26.7	47.2	10.5	1.3	-	7.5	-
	男性	6.1	23.7	50.0	11.3	1.4	-	7.5	-
	女性	7.4	29.3	44.8	9.8	1.3	-	7.4	-

⑥ 法律や制度では

全体では、「男性が優遇されている」が10.0%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が25.9%で、『男性優遇』が35.9%、『平等』は30.3%である。

性別では、『平等』は男性で41.8%だが、女性は21.4%と少なく、男女の差異が大きい。



(単位: 人、%)

	合計	『男性優遇』	『平等』	『女性優遇』
全体	880	35.9	30.3	5.4
男性	378	27.2	41.8	8.8
女性	499	42.7	21.4	3.0

【詳細分析】

年齢×性別では、「平等である」は40歳代、50歳代、60歳以上の男性でそれぞれ45.0%前後と多く、女性は30歳代 (14.5%)、50歳代 (17.4%)、60歳以上 (20.1%) は少ない。「女性が優遇されている」は、30歳代男性で10.9%と多い。

子どもの有無別では、「平等である」は中学生以上18歳未満の子どもがいる人で39.6%と多い。「どちらかといえば男性が優遇されている」は、子どもの年齢が上がると割合が低下している。

(単位：人、%)

		合計	男性が優遇されている	遇えどち さばち ら男性 性が 優い	平等である	遇えどち さばち ら女性 性が 優い	女性が優遇されている	どちらとも いえない	わからない	無回答
全体		880	10.0	25.9	30.3	3.4	2.0	9.1	16.3	3.0
年齢×性別	18～29歳-男性	43	7.0	14.0	37.2	4.7	7.0	11.6	16.3	2.3
	18～29歳-女性	52	9.6	21.2	25.0	5.8	3.8	15.4	19.2	-
	30歳代-男性	46	6.5	21.7	30.4	8.7	10.9	8.7	13.0	-
	30歳代-女性	62	11.3	37.1	14.5	4.8	-	9.7	21.0	1.6
	40歳代-男性	68	2.9	19.1	47.1	5.9	1.5	2.9	16.2	4.4
	40歳代-女性	96	15.6	26.0	31.3	-	2.1	12.5	12.5	-
	50歳代-男性	83	3.6	27.7	45.8	8.4	1.2	7.2	3.6	2.4
	50歳代-女性	115	16.5	32.2	17.4	0.9	0.9	7.8	21.7	2.6
	60歳以上-男性	138	8.0	21.0	42.0	2.9	1.4	6.5	15.2	2.9
60歳以上-女性	174	11.5	29.3	20.1	1.1	0.6	10.9	19.5	6.9	
子どもの有無	小学校入学前の子どもがいる	85	8.0	29.9	28.7	5.7	2.3	11.5	12.6	1.1
	小学生の子どもがいる	81	4.6	28.7	33.3	4.6	2.3	8.0	18.4	-
	中学生以上18歳未満の子どもがいる	91	7.9	27.7	39.6	1.0	-	5.0	17.8	1.0
	18歳以上の子どもがいる	386	11.0	26.2	30.4	2.9	1.1	8.1	16.6	3.8
	いない	56	9.8	24.4	26.1	5.1	3.0	11.5	17.9	2.1

<前回調査・国調査との比較>

前回調査との比較では、今回調査で「どちらともいえない」という選択肢が増えたため、「どちらともいえない」が9.1%と比較が難しい。

国調査との比較でも同様に、国では「どちらともいえない」がないため比較が難しいが、「平等である」は国では全体（40.8%）、男性（48.9%）、女性（34.0%）と多い。

(単位：%)

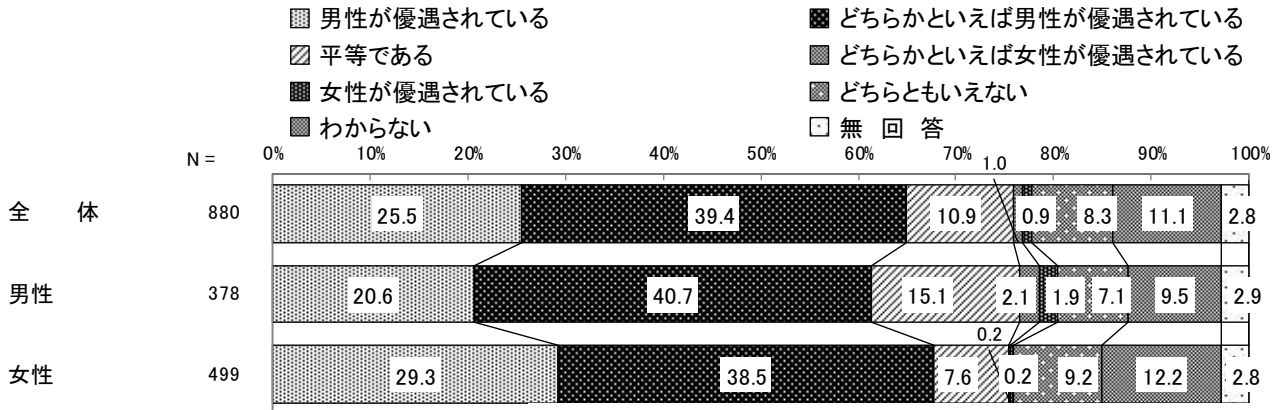
		男性が優遇されている	遇えどち さばち ら男性 性が 優い	平等である	遇えどち さばち ら女性 性が 優い	女性が優遇されている	どちらとも いえない	わからない	無回答
今回調査	全体	10.0	25.9	30.3	3.4	2.0	9.1	16.3	3.0
	男性	5.8	21.4	41.8	5.6	3.2	6.9	12.7	2.6
	女性	13.2	29.5	21.4	1.8	1.2	10.8	18.8	3.2
前回調査	全体	11.8	25.7	31.7	4.0	1.0	-	17.5	8.4
	男性	7.2	22.3	40.8	4.8	2.4	-	13.7	8.9
	女性	15.3	27.7	25.4	3.5	-	-	20.2	7.9
国調査	全体	10.6	34.7	40.8	5.0	0.7	-	8.3	-
	男性	8.6	29.2	48.9	5.9	1.1	-	6.3	-
	女性	12.3	39.3	34.0	4.2	0.3	-	10.0	-

⑦ 社会通念、慣習・しきたりなどでは

全体では、「男性が優遇されている」が25.5%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が39.4%で、『男性優遇』が64.9%と多く、『平等』は10.9%である。

性別では、『平等』は男性では15.1%とやや多く、女性は7.6%と少ない。

問12 ⑦社会通念、慣習・しきたりなどでは[%]



(単位:人、%)

	合計	『男性優遇』	『平等』	『女性優遇』
全体	880	64.9	10.9	1.9
男性	378	61.3	15.1	4.0
女性	499	67.8	7.6	0.4

【詳細分析】

年齢×性別では、「平等である」が、50歳代の男性で20.5%と多い。

(単位:人、%)

		合計	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	どちらともいえない	わからない	無回答
全体		880	25.5	39.4	10.9	1.0	0.9	8.3	11.1	2.8
年齢×性別	18~29歳-男性	43	20.9	27.9	16.3	2.3	4.7	7.0	18.6	2.3
	18~29歳-女性	52	28.8	42.3	5.8	-	-	15.4	7.7	-
	30歳代-男性	46	17.4	37.0	8.7	6.5	-	10.9	19.6	-
	30歳代-女性	62	32.3	40.3	3.2	1.6	-	4.8	14.5	3.2
	40歳代-男性	68	16.2	41.2	14.7	-	4.4	10.3	8.8	4.4
	40歳代-女性	96	35.4	33.3	11.5	-	-	8.3	11.5	-
	50歳代-男性	83	15.7	50.6	20.5	2.4	-	4.8	2.4	3.6
	50歳代-女性	115	32.2	39.1	5.2	-	-	7.0	13.0	3.5
	60歳以上-男性	138	26.8	39.9	13.8	1.4	1.4	5.8	8.0	2.9
	60歳以上-女性	174	23.0	39.1	9.2	-	0.6	10.9	12.6	4.6

<前回調査・国調査との比較>

前回調査との比較では、今回調査で「どちらともいえない」という選択肢が増えたため、「どちらともいえない」が8.3%となり比較が難しい。

国調査との比較では、「どちらともいえない」がないため比較が難しいものの、「平等である」は国では全体（21.8%）、男性（24.2%）、女性（19.8%）と多い。

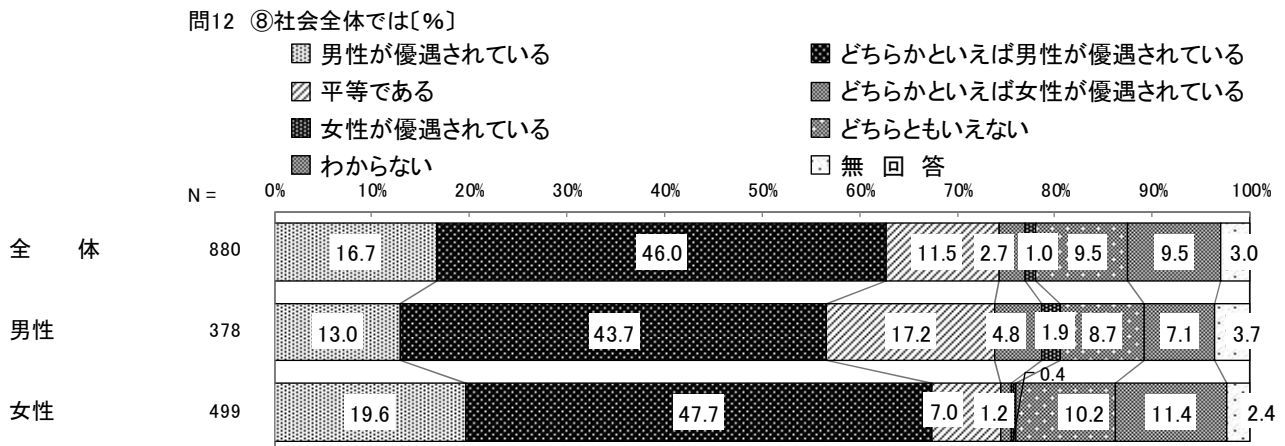
(単位:%)

		男性が優遇さ	遇えど さば ち ら か と い う 優 い	平 等 で あ る	遇えど さば ち ら か と い う 優 い	女 性 が 優 遇 さ	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い	無 回 答
今 回 調 査	全 体	25.5	39.4	10.9	1.0	0.9	8.3	11.1	2.8
	男 性	20.6	40.7	15.1	2.1	1.9	7.1	9.5	2.9
	女 性	29.3	38.5	7.6	0.2	0.2	9.2	12.2	2.8
前 回 調 査	全 体	21.9	45.5	9.9	1.7	-	-	12.9	8.1
	男 性	16.1	47.6	13.0	3.1	-	-	11.6	8.6
	女 性	26.2	44.2	7.4	0.7	-	-	13.8	7.7
国 調 査	全 体	17.6	52.8	21.8	2.8	0.4	-	4.6	-
	男 性	16.7	51.9	24.2	3.1	0.4	-	3.7	-
	女 性	18.4	53.5	19.8	2.5	0.4	-	5.4	-

⑧ 社会全体では

全体では、「男性が優遇されている」が16.7%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が46.0%で、『男性優遇』が62.7%と多く、『平等』は11.5%にとどまっている。

性別では、『平等』は男性で17.2%とやや多く、女性は7.0%と少ない。



(単位: 人、%)

	合計	『男性優遇』	『平等』	『女性優遇』
全体	880	62.7	11.5	3.7
男性	378	56.7	17.2	6.7
女性	499	67.3	7.0	1.6

【詳細分析】

年齢×性別では、「平等である」は、50歳代の男性で26.5%と多い。18歳～29歳の男性で「どちらかといえば女性が優遇されている」(9.3%)、「女性が優遇されている」(7.0%)が多い。

(単位: 人、%)

	合計	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	どちらともいえない	わからない	無回答	
全体	880	16.7	46.0	11.5	2.7	1.0	9.5	9.5	3.0	
年齢×性別	18～29歳-男性	43	11.6	39.5	11.6	9.3	7.0	9.3	9.3	2.3
	18～29歳-女性	52	15.4	57.7	3.8	3.8	1.9	9.6	7.7	-
	30歳代-男性	46	15.2	37.0	15.2	4.3	4.3	8.7	13.0	2.2
	30歳代-女性	62	19.4	54.8	3.2	1.6	-	9.7	9.7	1.6
	40歳代-男性	68	8.8	48.5	14.7	5.9	-	10.3	7.4	4.4
	40歳代-女性	96	25.0	49.0	4.2	1.0	-	9.4	11.5	-
	50歳代-男性	83	10.8	41.0	26.5	6.0	-	7.2	2.4	6.0
	50歳代-女性	115	19.1	50.4	7.0	-	-	7.8	13.0	2.6
	60歳以上-男性	138	15.9	46.4	15.2	2.2	1.4	8.7	7.2	2.9
60歳以上-女性	174	18.4	39.7	10.9	1.1	0.6	12.6	12.1	4.6	

<前回調査・国調査との比較>

前回調査との比較では、今回調査で「どちらともいえない」という選択肢が増えたため、「どちらともいえない」が9.5%と比較が難しい。

国調査との比較でも同様に、「どちらともいえない」がないため比較が難しいものの、「平等である」は国では全体（21.1%）、男性（25.7%）、女性（17.1%）と多い。

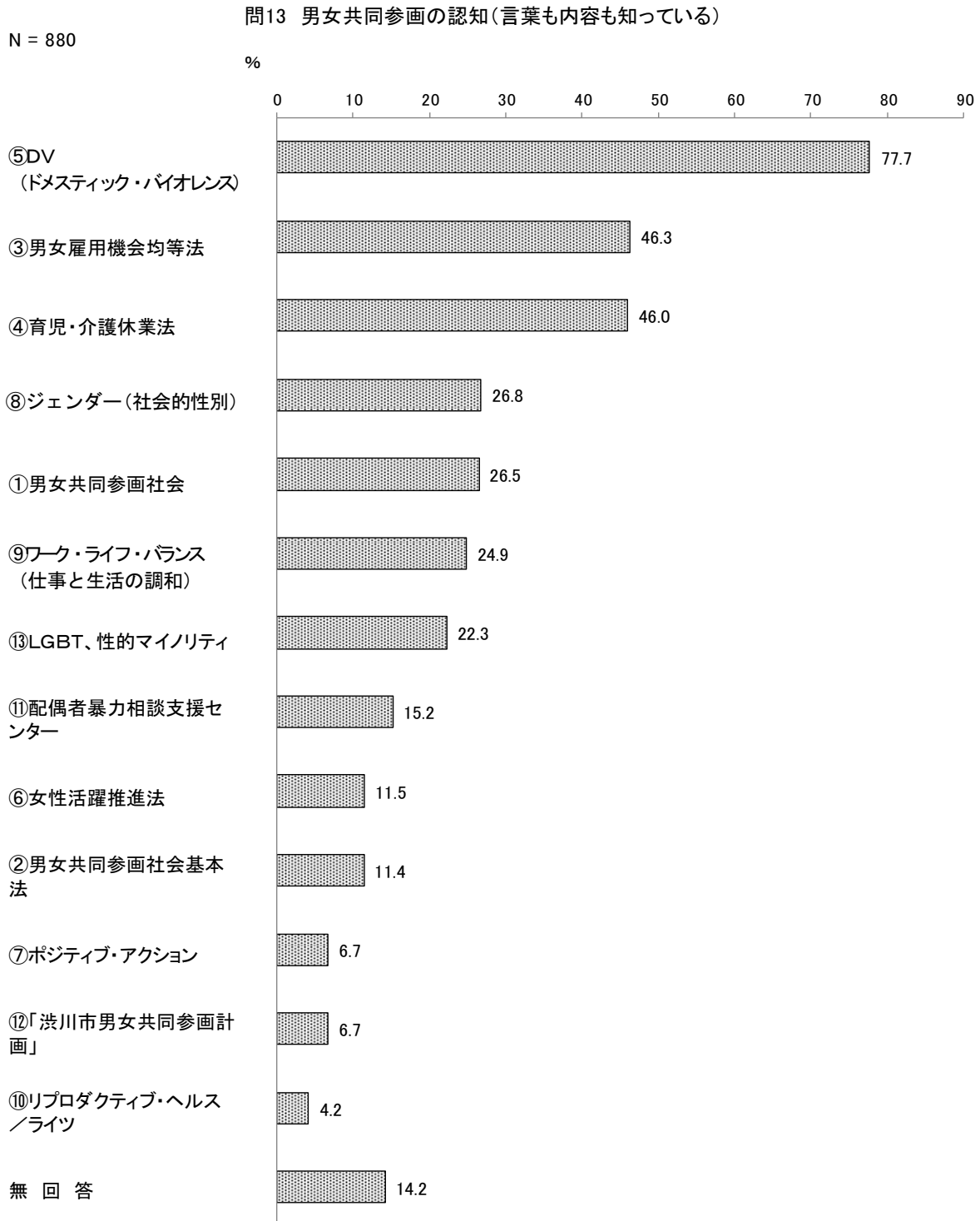
(単位:%)

		男性が優遇されている	どちらか優遇されている	平等である	どちらか優遇されている	女性が優遇されている	どちらともいえない	わからない	無回答
今回調査	全体	16.7	46.0	11.5	2.7	1.0	9.5	9.5	3.0
	男性	13.0	43.7	17.2	4.8	1.9	8.7	7.1	3.7
	女性	19.6	47.7	7.0	1.2	0.4	10.2	11.4	2.4
前回調査	全体	13.5	51.6	12.1	3.6	0.6	-	11.1	7.7
	男性	8.6	48.3	17.1	6.5	1.0	-	10.3	8.2
	女性	17.3	54.1	8.1	1.5	0.2	-	11.6	7.2
国調査	全体	9.7	64.5	21.1	2.8	0.2	-	1.7	-
	男性	7.3	60.9	25.7	4.1	0.3	-	1.7	-
	女性	11.7	67.5	17.1	1.8	0.2	-	1.8	-

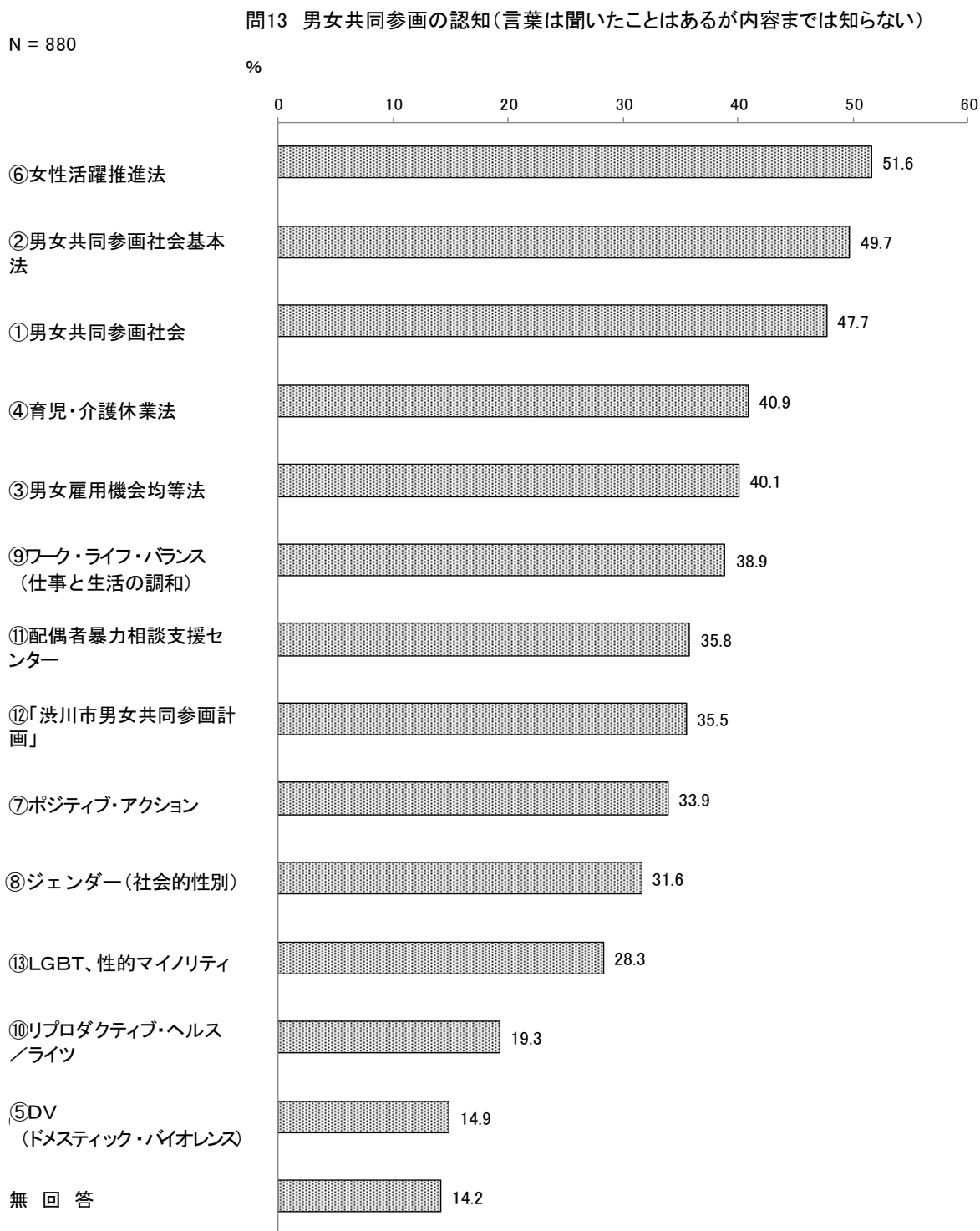
問13 あなたは、①～⑬について、見聞きしたことがありますか。

<全体>

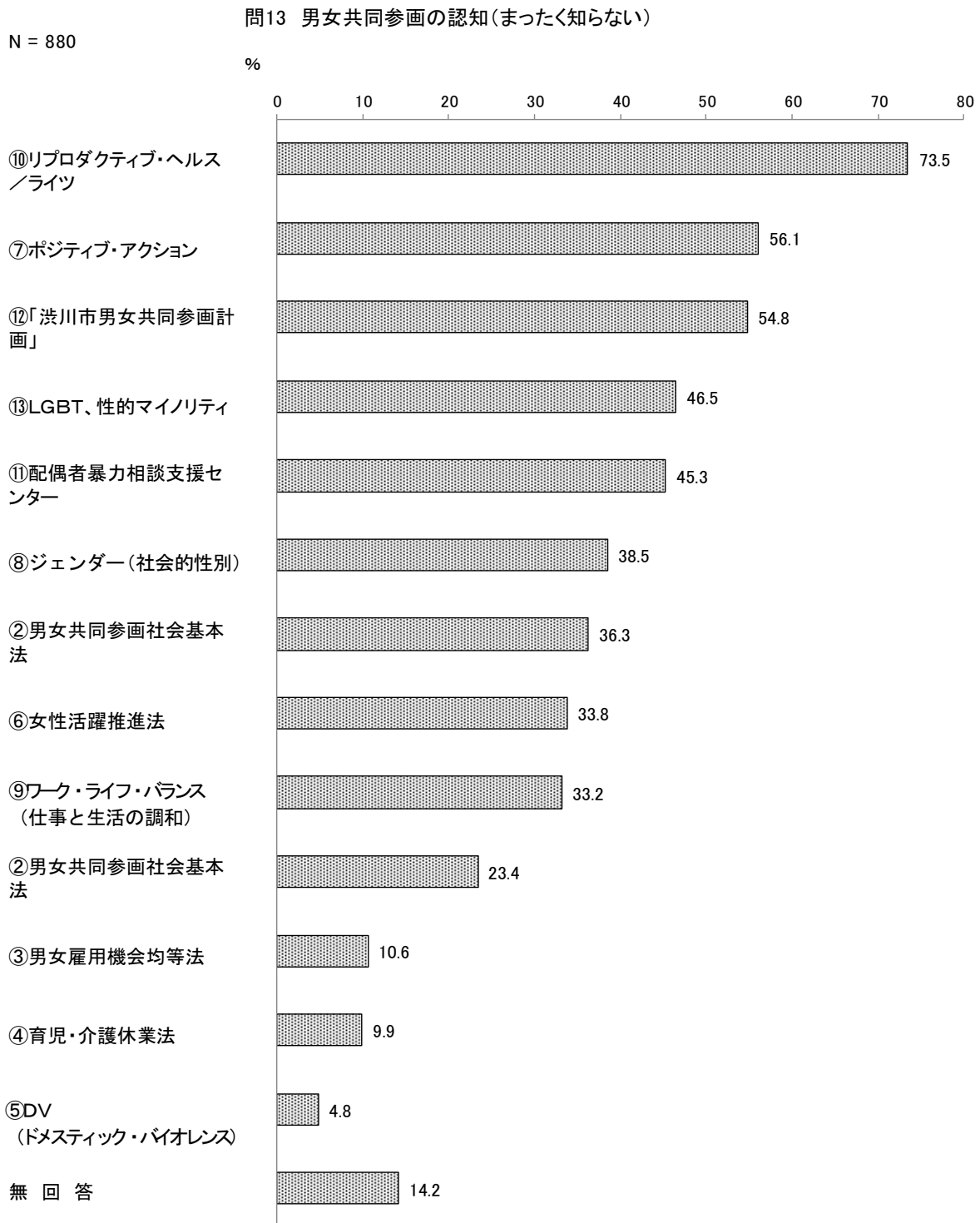
「言葉も内容も知っている」では、「⑤DV（ドメスティック・バイオレンス）」（77.7%）が最も多く、「③男女雇用機会均等法」（46.3%）、「④育児・介護休業法」（46.0%）が続いている。



「言葉は聞いたことはあるが内容までは知らない」では、「⑥女性活躍推進法」(51.6%)が最も多く、「②男女共同参画社会基本法」(49.7%)、「①男女共同参画社会」(47.7%)、「④育児・介護休業法」(40.9%)が続いている。

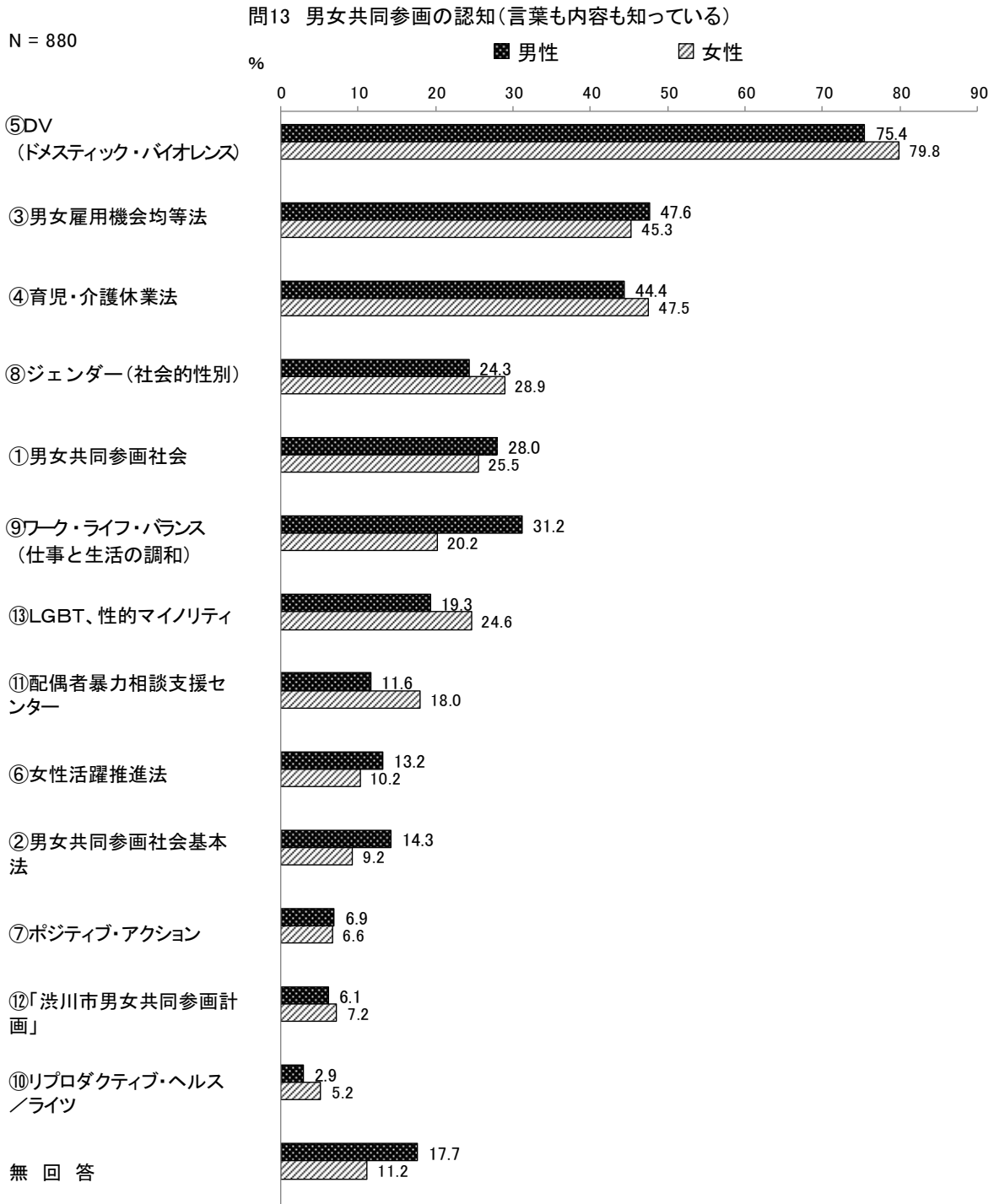


「まったく知らない」では、「⑩リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する女性の健康／権利）」（73.5%）が最も多く、「⑦ポジティブ・アクション（積極的改善措置）」（56.1%）、
「⑫「渋川市男女共同参画計画」」（54.8%）が続いている。



<性別>

「言葉も内容も知っている」では、男性は「⑤DV（ドメスティック・バイオレンス）」（75.4%）が最も多く、「③男女雇用機会均等法」（47.6%）、「④育児・介護休業法」（44.4%）、「⑨ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」（31.2%）が続いている。女性は「⑤DV（ドメスティック・バイオレンス）」（79.8%）が最も多く、「④育児・介護休業法」（47.5%）、「③男女雇用機会均等法」（45.3%）、「⑧ジェンダー（社会的性別）」（28.9%）が続いている。



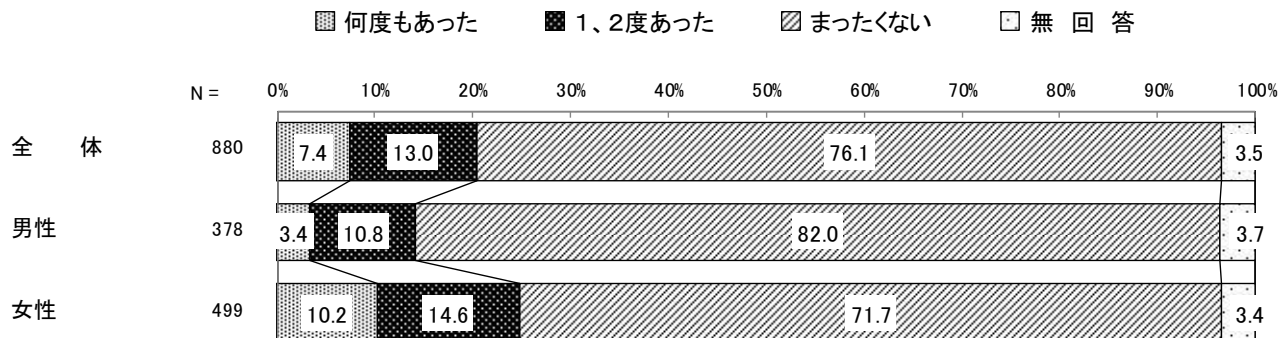
2-5 恋人や配偶者からの暴力について

問14 あなたは、これまでに、あなたの恋人や配偶者（事実婚や別居中、離婚後を含む）から、身体的・精神的・性的・経済的暴力を受けたことがありますか。

全体では、「1、2度あった」が13.0%、「何度もあった」は7.4%である。

性別では、男性は「まったくない」が82.0%と多い。女性は「何度もあった」が10.2%とやや多くなっている。

問14 恋人や配偶者からの暴力[%]



【詳細分析】

年齢×性別では、60歳以上の男性で「何度もあった」が0.7%と少なく、「まったくない」が87.0%と多い。女性は30歳代で「何度もあった」が17.7%と多く、40歳代で「まったくない」が63.5%と少ない。

子どもの有無別では、「1、2度あった」は、『中学生以上18歳未満の子どもがいる』で22.8%と多く、「まったくない」は、『いない』で82.9%と多い。

(単位：人、%)

	合計	あ 何 っ た も	あ っ た 1、 2 度	ま っ た く な い	無 回 答	
全体	880	7.4	13.0	76.1	3.5	
年齢×性別	18～29歳-男性	43	2.3	2.3	90.7	4.7
	18～29歳-女性	52	-	9.6	90.4	-
	30歳代-男性	46	10.9	10.9	78.3	-
	30歳代-女性	62	17.7	12.9	69.4	-
	40歳代-男性	68	1.5	16.2	76.5	5.9
	40歳代-女性	96	13.5	18.8	63.5	4.2
	50歳代-男性	83	6.0	14.5	75.9	3.6
	50歳代-女性	115	8.7	18.3	70.4	2.6
	60歳以上-男性	138	0.7	8.7	87.0	3.6
	60歳以上-女性	174	9.8	12.1	72.4	5.7
子どもの有無	小学校入学前の子どもがいる	87	10.3	16.1	71.3	2.3
	小学生の子どもがいる	87	12.6	18.4	67.8	1.1
	中学生以上18歳未満の子どもがいる	101	11.9	22.8	64.4	1.0
	18歳以上の子どもがいる	447	7.4	14.1	75.2	3.4
	いない	234	4.7	8.5	82.9	3.8

<前回調査・国調査・県調査との比較>

前回調査との比較では、女性で「何度もあった」「1、2度あった」ともに前回を上回っている。
 (前回調査の全体、男性の「まったくない」「無回答」、県調査の全体「まったくない」「無回答」、に男女別の項目なし)

(単位:%)

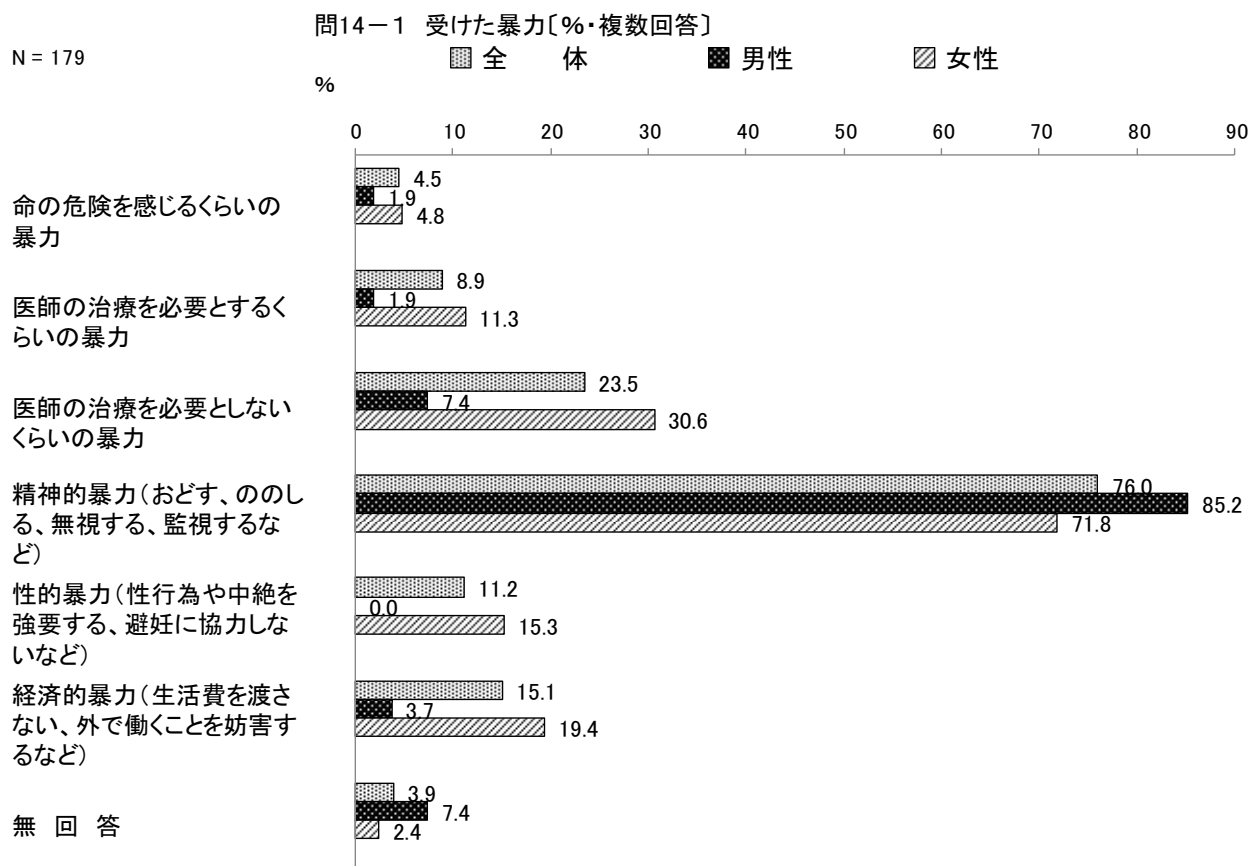
		あ何 っ度 たも	あ っ た 1、 2 度	ま っ た く な い	無 回 答
今 回 調 査	全 体	7.4	13.0	76.1	3.5
	男 性	3.4	10.8	82.0	3.7
	女 性	10.2	14.6	71.7	3.4
調 前 査 回	男 性	4.1	2.7	-	-
	女 性	8.6	12.3	-	-
県 調 査	全 体	7.5	13.2	-	-

問14-1 【問14で「1 何度もあった」または「2 1、2度あった」と答えた方】

あなたは、どのような暴力を受けたことがありますか。

全体では、「精神的暴力（おどす、ののしる、無視する、監視するなど）」が76.0%と多く、その他は「医師の治療を必要としないくらいの暴力」が23.5%、「経済的暴力（生活費を渡さない、外で働くことを妨害するなど）」が15.1%である。

性別では、男性は「精神的暴力（おどす、ののしる、無視する、監視するなど）」が85.2%と多い。女性は「医師の治療を必要としないくらいの暴力」が30.6%、「経済的暴力（生活費を渡さない、外で働くことを妨害するなど）」が19.4%である。



【詳細分析】

年齢×性別では、30歳代の女性で「医師の治療を必要としないくらいの暴力」が47.4%と多く、「性的暴力（性行為や中絶を強要する、避妊に協力しないなど）」が26.3%と多い。

女性の婚姻状況別では、未婚で「医師の治療を必要とするくらいの暴力」が25.0%と多く、離別、死別で「命の危険を感じるくらいの暴力」が17.9%、「経済的暴力（生活費を渡さない、外で働くことを妨害するなど）」が42.9%と多い。

(単位：人、%)

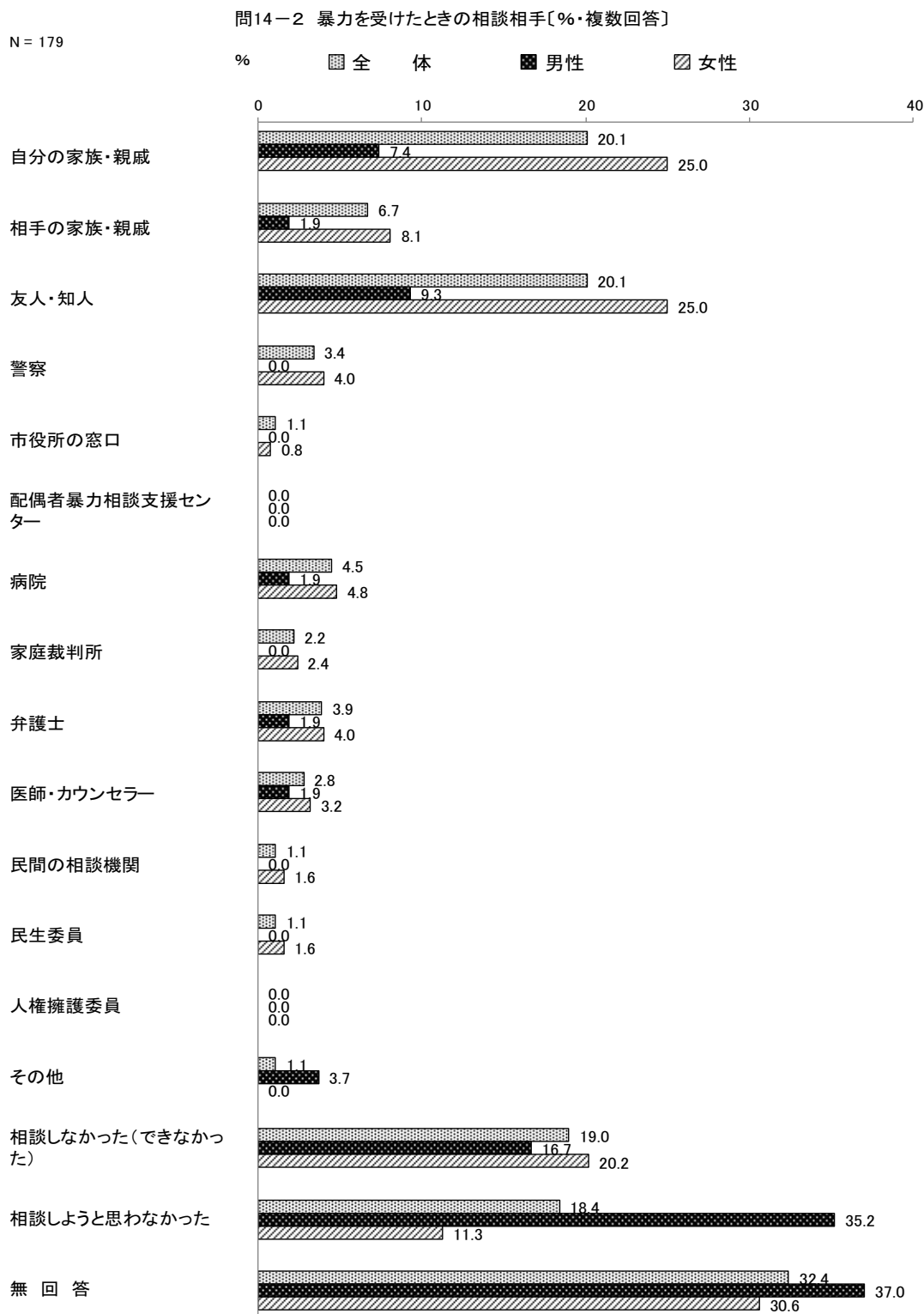
		合計	命の危険を感じるくらいの暴力	医師の治療を必要とするくらいの暴力	医師の治療を必要としないくらいの暴力	精神的暴力（おどす、監視するなど）	性的暴力（性行為や中絶を強要する、避妊に協力しないなど）	経済的暴力（生活費を渡さない、外で働くことを妨害するなど）	無回答
全体		179	4.5	8.9	23.5	76.0	11.2	15.1	3.9
年齢×性別	18～29歳-男性	2	-	-	-	50.0	-	-	50.0
	18～29歳-女性	5	-	-	40.0	60.0	20.0	20.0	-
	30歳代-男性	10	10.0	-	10.0	100.0	-	10.0	-
	30歳代-女性	19	-	5.3	47.4	78.9	26.3	10.5	5.3
	40歳代-男性	12	-	-	8.3	83.3	-	-	8.3
	40歳代-女性	31	6.5	16.1	25.8	67.7	12.9	16.1	-
	50歳代-男性	17	-	-	-	88.2	-	5.9	11.8
	50歳代-女性	31	6.5	16.1	25.8	77.4	9.7	25.8	-
	60歳以上-男性	13	-	7.7	15.4	76.9	-	-	-
	60歳以上-女性	38	5.3	7.9	28.9	68.4	15.8	21.1	5.3
婚姻状況（女性）	未婚	8	-	25.0	25.0	62.5	50.0	-	12.5
	既婚（配偶者がいる）	88	1.1	8.0	29.5	75.0	13.6	13.6	2.3
	離別、死別	28	17.9	17.9	35.7	64.3	10.7	42.9	-

問14-2 【問14で「1 何度もあった」または「2 1、2度あった」と答えた方】

あなたは、暴力を受けたときに、誰（どこ）に相談をしましたか。

全体では、「自分の家族・親戚」と「友人・知人」がともに20.1%、「相談しなかった（できなかった）」が19.0%、「相談しようと思わなかった」が18.4%である。「無回答」が32.4%と多くなっている。

性別では、女性の「自分の家族・親戚」と「友人・知人」がともに25.0%で、男性は「相談しようと思わなかった」が35.2%である。

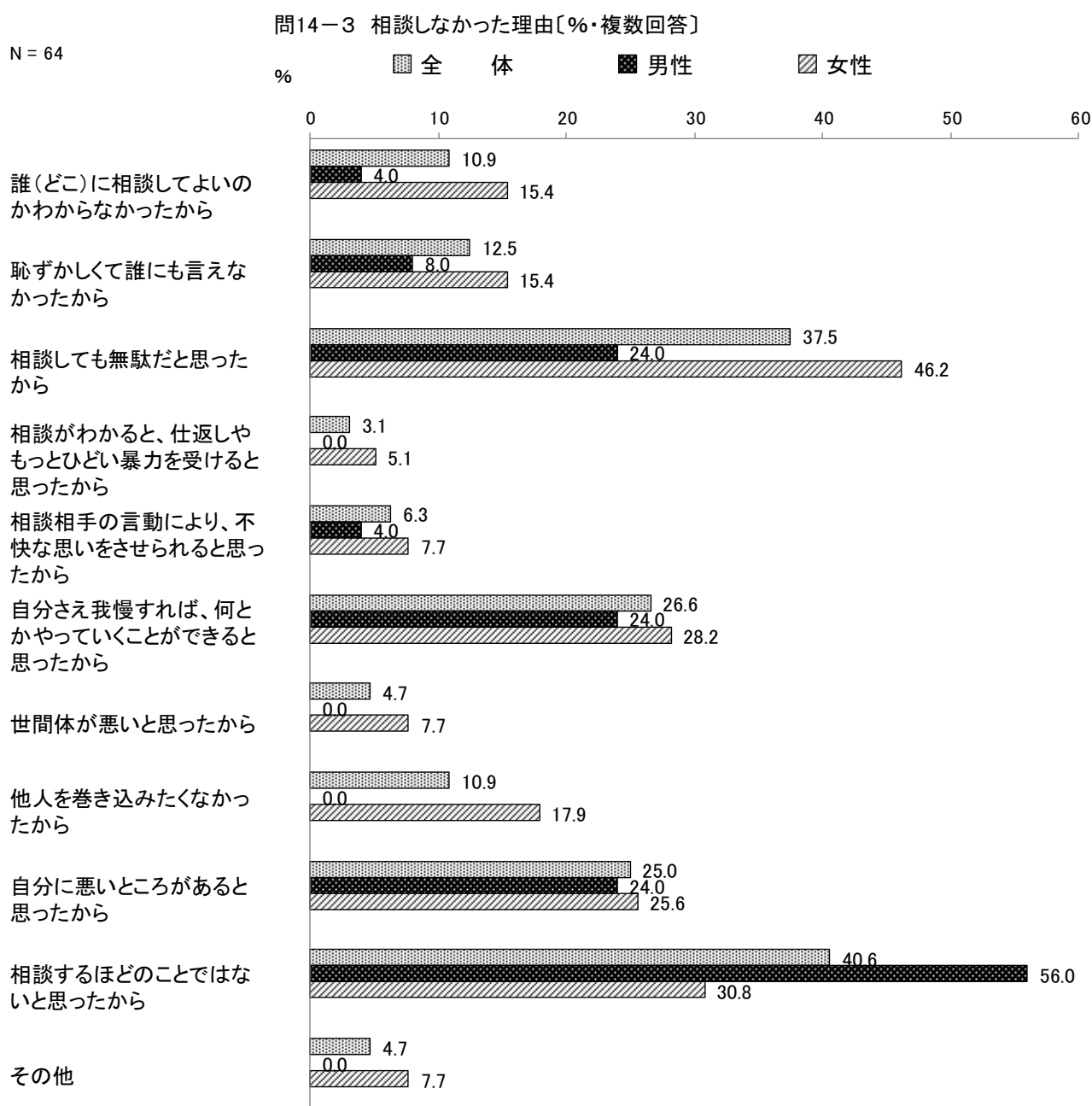


問 14-3 【問 14-2 で「15 相談しなかった（できなかった）」または「16 相談しようと思わなかった」と答えた方】

あなたが相談しなかった理由はどのようなことですか。

全体では、「相談するほどのことではないと思ったから」が40.6%と多く、「相談しても無駄だと思ったから」が37.5%、「自分さえ我慢すれば、何とかやっていくことができると思ったから」が26.6%、「自分に悪いところがあると思ったから」が25.0%となっている。

性別では、男性は「相談するほどのことではないと思ったから」が56.0%と多く、女性では「相談しても無駄だと思ったから」が46.2%と多い。



【詳細分析】

年齢×性別では、18～29歳の女性で、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」「自分さえ我慢すれば、何とかやっていくことができると思ったから」「自分に悪いところがあると思ったから」がいずれも50.0%と多い。また、女性の30歳代で「誰（どこ）に相談してよいのかわからなかったから」「自分に悪いところがあると思ったから」がともに50.0%、50歳代の女性で「相談しても無駄だと思ったから」が60.0%と多い。

就業状況別では、『商工業などの自営業主または家族従業員』で、「自分に悪いところがあると思ったから」が42.9%と多く、『パートタイマーやアルバイトの勤め人(学生アルバイトを除く)』で、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」が21.1%と多い。

子どもの有無別では、『中学生以上18歳未満の子どもがいる』人で、「自分に悪いところがあると思ったから」が54.5%と多い。

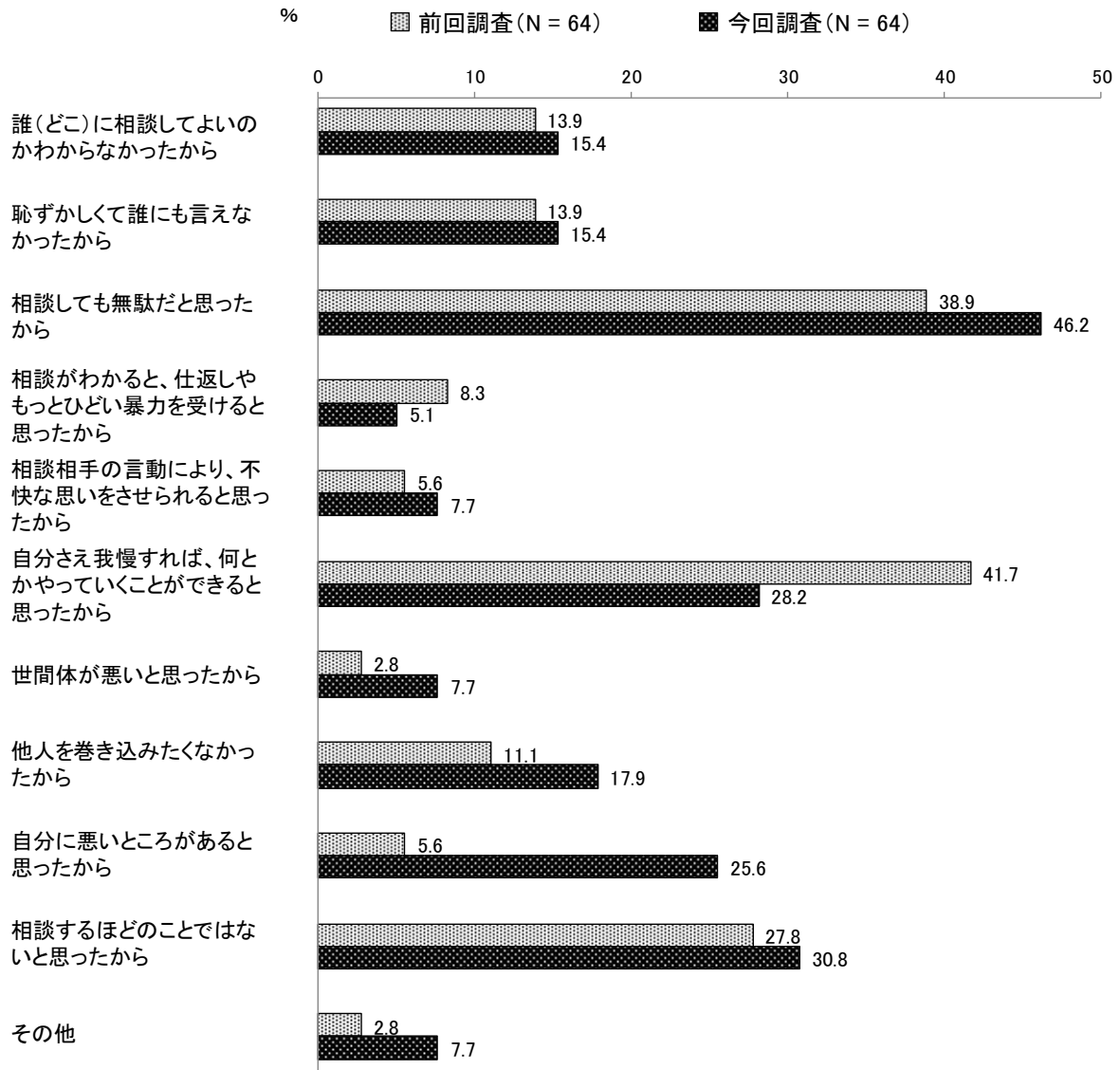
(単位：人、%)

	合計	誰(どこ)に相談してよいのかわからなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談がわかると、仕返しやもつとひどい暴力を受けると思ったから	相談相手の言動により、不快な思いをさせられると思ったから	自分さえ我慢すれば、何とかやっていくことができると思ったから	世間体が悪いと思ったから	他人を巻き込みたくなかったから	自分に悪いところがあると思っただから	相談するほどのことではないと思っただから	その他	無回答
全体	64	10.9	12.5	37.5	3.1	6.3	26.6	4.7	10.9	25.0	40.6	4.7	-
年齢×性別	18～29歳-男性	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	18～29歳-女性	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-
	30歳代-男性	6	16.7	16.7	33.3	-	-	16.7	-	-	66.7	-	-
	30歳代-女性	6	50.0	33.3	33.3	16.7	-	16.7	16.7	66.7	50.0	33.3	-
	40歳代-男性	7	-	-	14.3	-	-	28.6	-	-	42.9	42.9	-
	40歳代-女性	8	12.5	-	25.0	-	-	37.5	-	12.5	37.5	37.5	25.0
	50歳代-男性	6	-	-	16.7	-	-	33.3	-	-	33.3	66.7	-
	50歳代-女性	10	10.0	10.0	60.0	-	10.0	30.0	10.0	-	20.0	20.0	10.0
	60歳以上-男性	5	-	20.0	40.0	-	20.0	20.0	-	-	20.0	40.0	-
60歳以上-女性	13	7.7	15.4	61.5	7.7	15.4	23.1	7.7	15.4	7.7	30.8	-	
就業状況	会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人	20	5.0	10.0	35.0	-	10.0	30.0	-	5.0	40.0	45.0	-
	パートタイマーやアルバイトの勤め人(学生アルバイトを除く)	19	15.8	21.1	31.6	10.5	-	21.1	15.8	21.1	15.8	31.6	5.3
	農林漁業の自営業主または家族従業員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	商工業などの自営業主または家族従業員	7	14.3	14.3	-	-	-	14.3	-	14.3	42.9	57.1	14.3
	自由業	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	学生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	2	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	50.0
	していない、または、以前はしていたが、現在はしていない	15	6.7	6.7	60.0	-	13.3	33.3	-	6.7	13.3	40.0	-
子どもの有無	小学校入学前の子がいる	7	14.3	-	28.6	14.3	-	28.6	-	-	71.4	14.3	-
	小学生の子がいる	7	14.3	14.3	14.3	-	-	28.6	14.3	14.3	42.9	57.1	14.3
	中学生以上18歳未満の子がいる	11	-	-	27.3	-	-	27.3	-	18.2	54.5	36.4	18.2
	18歳以上の子がいる	31	9.7	9.7	45.2	-	12.9	32.3	3.2	3.2	25.8	32.3	6.5
	いない	16	6.3	18.8	31.3	6.3	-	18.8	6.3	18.8	25.0	43.8	-

<前回調査との比較>

前回調査との比較では、「相談しても無駄だと思ったから」が前回 (38.9%) より今回 (46.2%) が上回り、「自分さえ我慢すれば、何とかやっていくことができると思ったから」が前回 (41.7%) より今回 (28.2%) が下回っている。

問14-3 相談しなかった理由[%・複数回答・女性のみ]

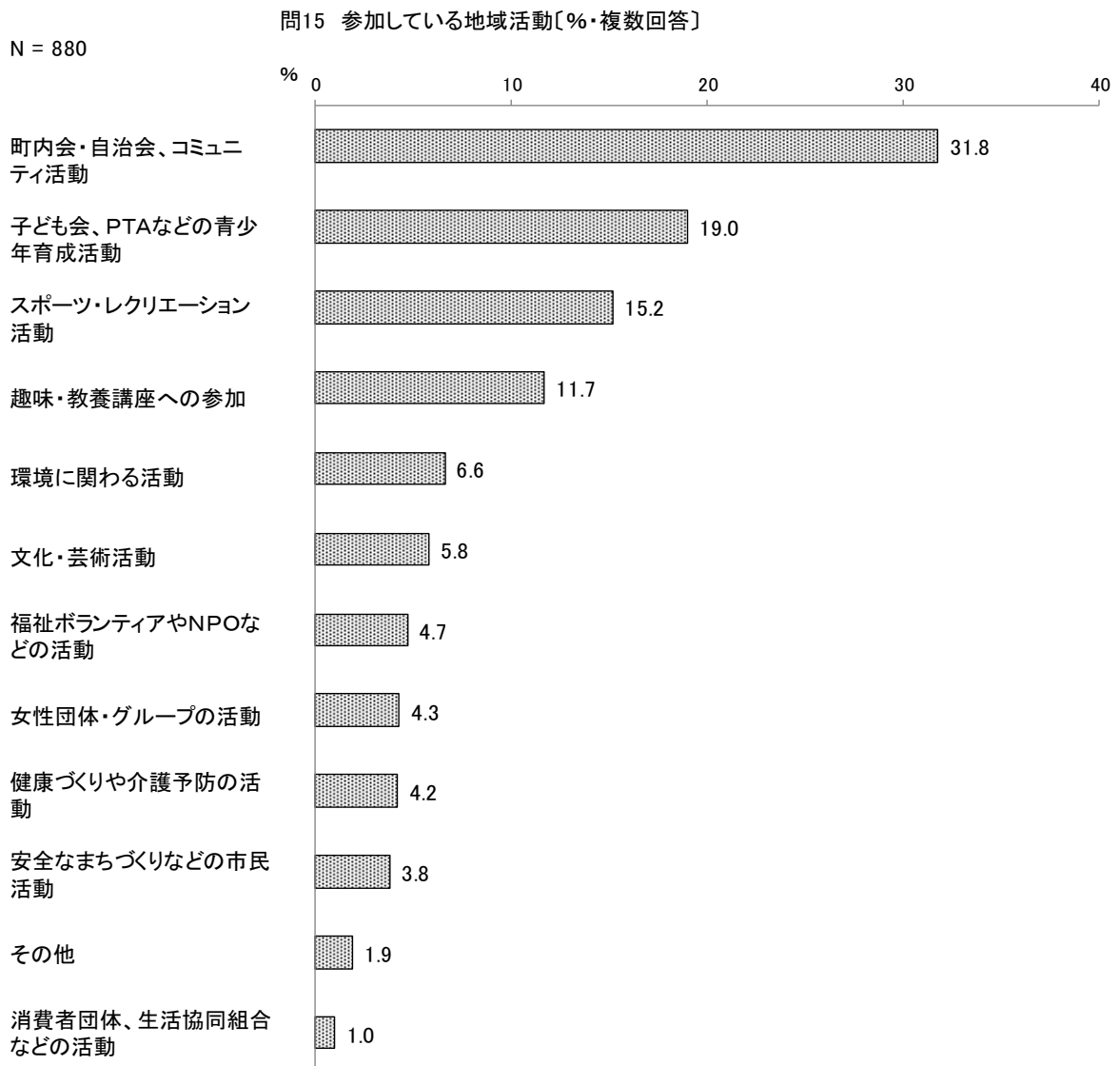


2-6 地域における男女共同参画の推進について

問 15 あなたは、次のような地域活動に参加していますか。

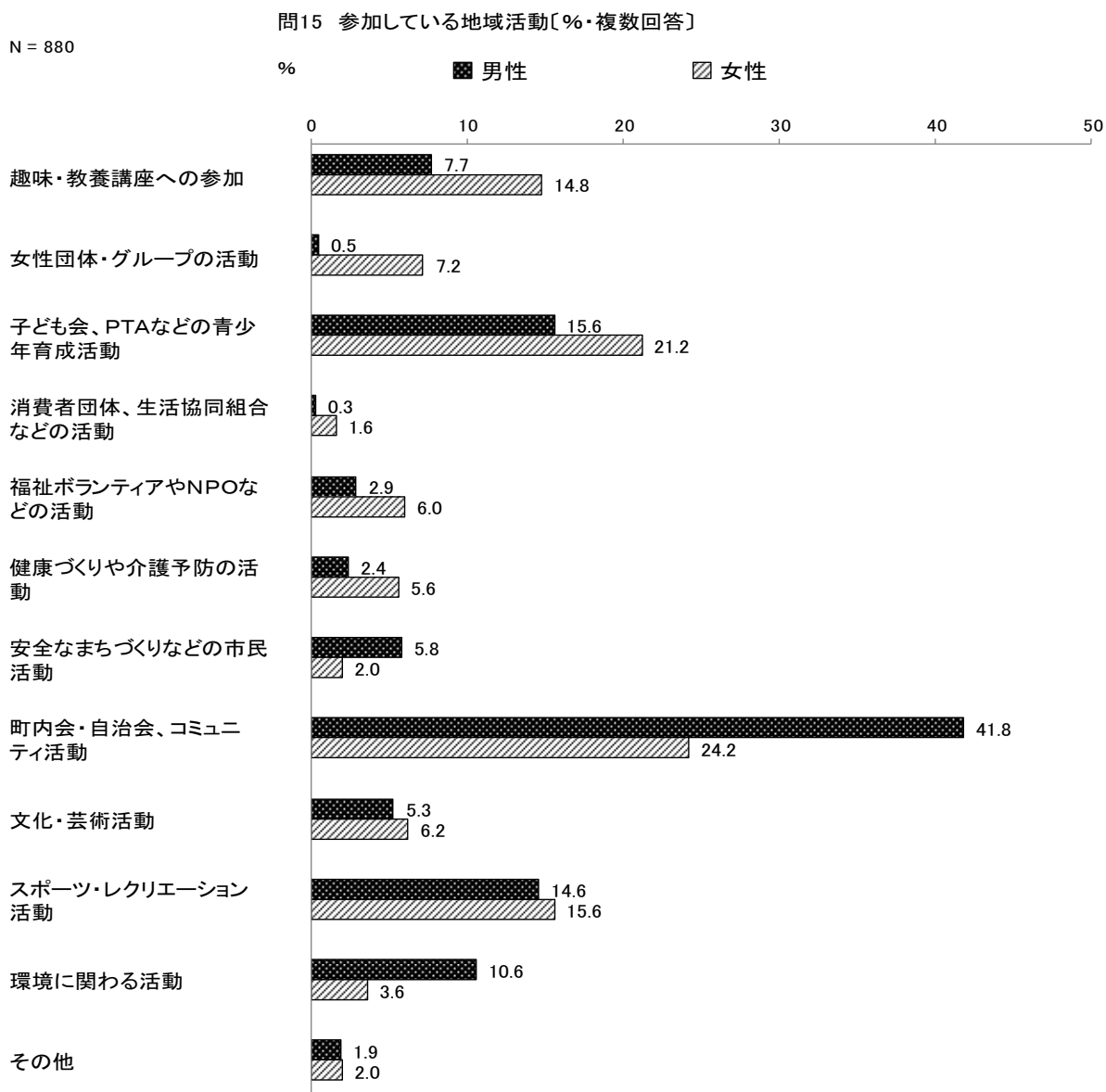
<全体>

「特にない」の41.7%を除くと、「町内会・自治会、コミュニティ活動」が31.8%で最も多く、「子ども会、PTAなどの青少年育成活動」が19.0%と続いている。



<性別>

性別では、男性は「町内会・自治会、コミュニティ活動」が41.8%と多くなっている。



【詳細分析】

年齢×性別では、「特にない」は、18歳～29歳の男女でともに70%を超えており、30歳代の女性も58.1%と多い。50歳代、60歳以上の男性で、「町内会・自治会、コミュニティ活動」が50%前後と多く、「環境に関わる活動」がともに14.5%と多い。「子ども会、PTAなどの青少年育成活動」は、女性の30歳代で32.3%、40歳代で51.0%と多い。60歳以上の女性では、「趣味・教養講座への参加」「女性団体・グループの活動」「健康づくりや介護予防の活動」が全体より多く回答されている。

世帯構成別では、「子ども会、PTAなどの青少年育成活動」は、『親と子と孫など（3世代）』で27.3%、『親と子供、夫婦とその親（2世代）』で25.6%と多い。『夫婦（事実婚を含む）のみ』では、「趣味・教養講座への参加」が17.8%、「女性団体・グループの活動」が8.9%と多い。

婚姻状況別では、『未婚』で「特にない」が65.4%と多く、『既婚（配偶者がいる）』で、「町内会・自治会、コミュニティ活動」が37.3%、「子ども会、PTAなどの青少年育成活動」が23.2%と多い。

子どもの有無別では、『小学生の子どもがいる』で、「子ども会、PTAなどの青少年育成活動」が71.3%と特に多い。『いない』では、「特にない」が63.2%と多い。

介護や支援を必要とする家族の有無別では、大きな違いはみられない。

(単位：人、%)

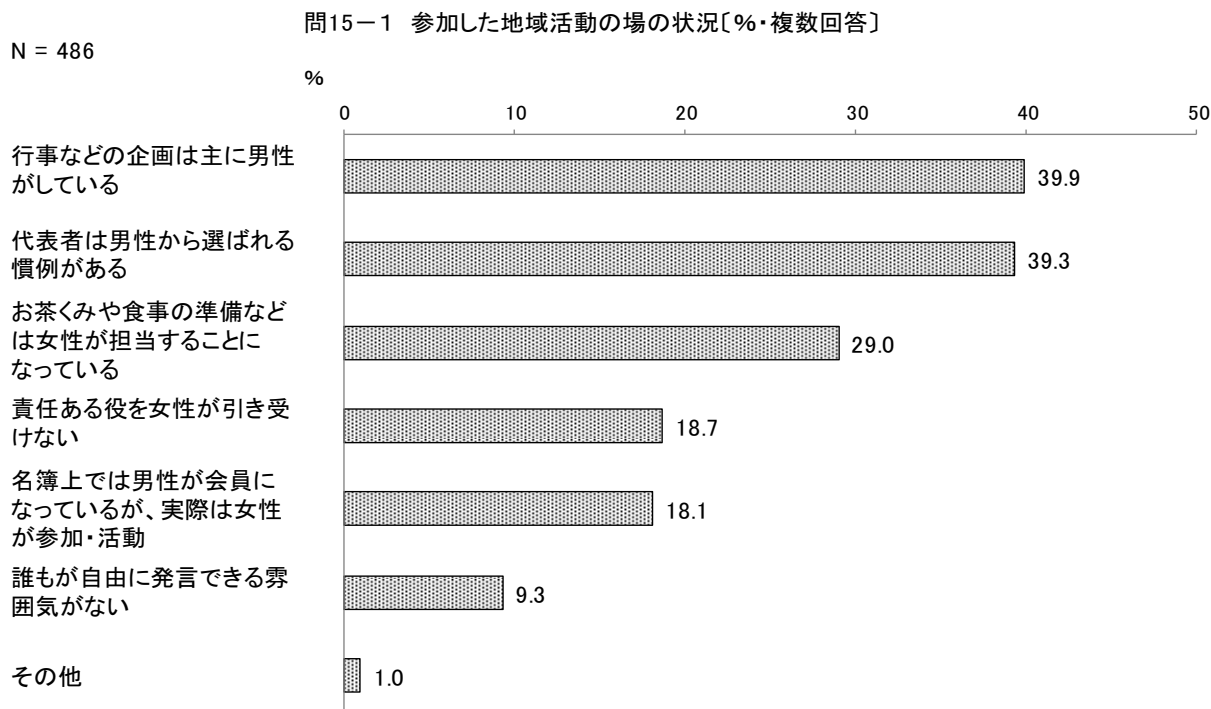
	合計	趣味・教養講座への参加	女性団体・グループの活動	子ども会、PTAなどの青少年育成活動	消費者団体、生活協同組合などの活動	福祉ボランティアやPOなどの活動	健康づくりや介護予防の活動	安全なまちづくりなどの市民活動	町内会・自治会、コミュニティ活動	文化・芸術活動	スポーツ・レクリエーション活動	環境に関わる活動	その他	特にない	無回答	
全体	880	11.7	4.3	19.0	1.0	4.7	4.2	3.8	31.8	5.8	15.2	6.6	1.9	41.7	3.1	
年齢×性別	18～29歳-男性	43	4.7	-	-	-	-	-	9.3	2.3	9.3	2.3	-	74.4	4.7	
	18～29歳-女性	52	3.8	-	7.7	-	5.8	1.9	7.7	3.8	9.6	1.9	1.9	71.2	-	
	30歳代-男性	46	6.5	-	23.9	2.2	-	-	4.3	34.8	-	6.5	4.3	2.2	52.2	-
	30歳代-女性	62	11.3	3.2	32.3	-	3.2	-	1.6	24.2	4.8	8.1	3.2	1.6	58.1	-
	40歳代-男性	68	1.5	-	23.5	-	2.9	5.9	-	33.8	4.4	14.7	7.4	1.5	41.2	2.9
	40歳代-女性	96	10.4	4.2	51.0	2.1	3.1	2.1	2.1	35.4	4.2	20.8	1.0	2.1	28.1	2.1
	50歳代-男性	83	10.8	1.2	25.3	-	2.4	1.2	4.8	59.0	7.2	25.3	14.5	3.6	25.3	1.2
	50歳代-女性	115	16.5	4.3	19.1	3.5	7.0	6.1	2.6	30.4	7.0	12.2	5.2	2.6	41.7	2.6
	60歳以上-男性	138	10.1	0.7	8.0	-	5.1	2.9	11.6	47.8	7.2	12.3	14.5	1.4	32.6	2.9
60歳以上-女性	174	20.7	14.4	6.3	1.1	8.0	10.3	2.3	19.0	8.0	19.5	4.6	1.7	39.1	7.5	
世帯構成	一人暮らし	71	5.6	1.4	5.6	1.4	5.6	1.4	4.2	32.4	8.5	8.5	7.0	-	49.3	4.2
	夫婦（事実婚を含む）のみ	213	17.8	8.9	8.5	1.4	6.1	7.5	3.8	31.9	8.5	17.8	5.6	3.3	40.8	4.7
	親と子供、夫婦とその親（2世代）	379	11.1	2.6	25.6	1.1	3.2	3.2	3.7	31.9	4.0	16.4	6.6	1.3	40.9	2.4
	親と子と孫など（3世代）	99	11.1	4.0	27.3	-	9.1	4.0	4.0	33.3	7.1	15.2	7.1	2.0	36.4	2.0
	その他	112	7.1	3.6	15.2	0.9	2.7	2.7	2.7	29.5	4.5	9.8	8.0	2.7	47.3	2.7
婚姻状況	未婚	179	5.0	0.6	5.0	-	3.9	1.1	1.1	14.0	5.6	8.9	3.4	1.7	65.4	2.2
	既婚（配偶者がいる）	611	14.2	5.9	23.2	1.3	5.1	5.4	4.4	37.3	5.6	17.3	7.5	2.0	34.4	2.9
	離別、死別	65	8.2	1.2	16.5	1.2	3.5	2.4	3.5	29.4	8.2	12.9	7.1	2.4	45.9	4.7
子どもの有無	小学校入学前の子どもがいる	87	10.3	2.3	35.6	1.1	3.4	2.3	3.4	40.2	3.4	16.1	5.7	2.3	42.5	-
	小学生の子どもがいる	87	14.9	2.3	71.3	2.3	3.4	2.3	1.1	51.7	3.4	25.3	5.7	1.1	13.8	-
	中学生以上18歳未満の子どもがいる	101	7.9	3.0	57.4	3.0	1.0	3.0	1.0	43.6	4.0	20.8	5.9	2.0	17.8	4.0
	18歳以上の子どもがいる	447	15.7	6.5	14.8	1.3	6.3	6.0	5.4	36.2	6.5	18.3	8.3	2.0	35.6	4.0
	いない	234	6.8	2.1	3.8	-	3.0	1.7	1.7	15.8	6.4	7.3	3.8	1.7	63.2	2.1
と介護や支援を必要とする家族の有無	いる	197	13.2	5.1	13.2	0.5	4.6	4.6	3.6	31.0	6.1	12.2	10.2	2.0	39.1	3.6
	いない	674	11.4	4.2	20.6	1.2	4.7	4.2	3.7	32.3	5.8	16.0	5.6	1.9	42.3	2.8

問15-1 【問15で「13 特にない」と答えた以外の方】

あなたが参加した地域活動の場で次のようなことがありましたか。

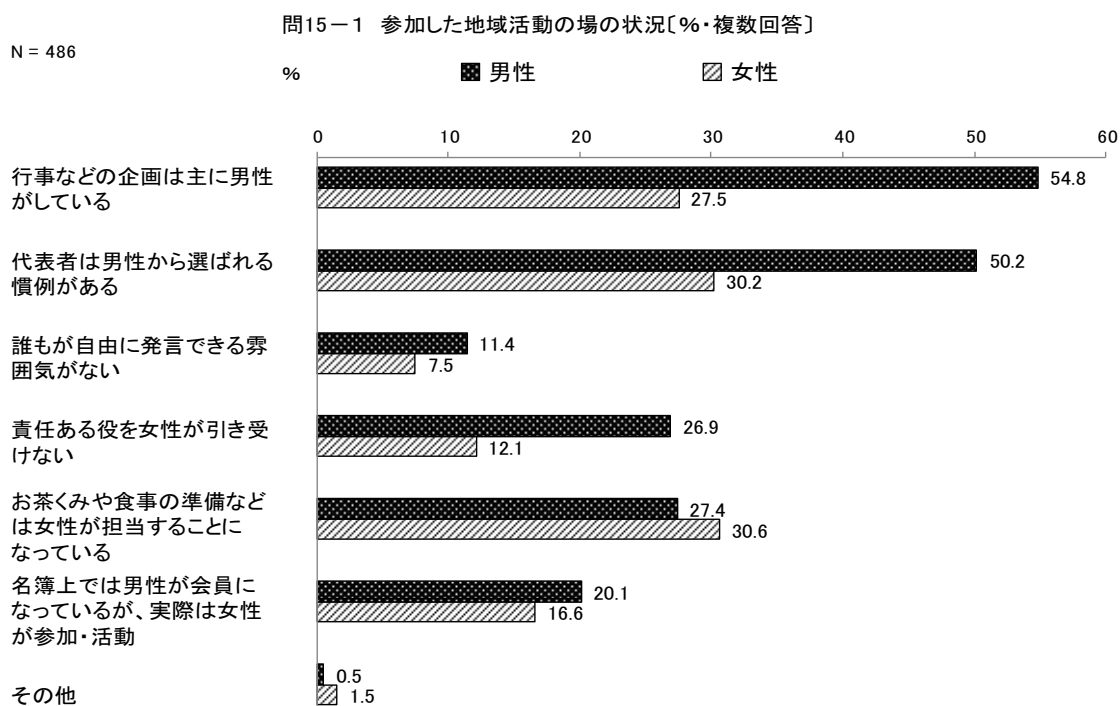
<全体>

「行事などの企画は主に男性がしている」が39.9%、「代表者は男性から選ばれる慣例がある」が39.3%と多く、「お茶くみや食事の準備などは女性が担当することになっている」が29.0%と続いている。



<性別>

男性は「行事などの企画は主に男性がしている」に54.8%、「代表者は男性から選ばれる慣例がある」が50.2%となっている。



【詳細分析】

年齢×性別では、「行事などの企画は主に男性がしている」「代表者は男性から選ばれる慣例がある」は40歳代、50歳代、60歳以上の男性で50%台と多く、60歳以上の女性で20%台と少ない。50歳代の男性で「責任ある役を女性が引き受けない」が36.1%、「誰もが自由に発言できる雰囲気がない」が19.7%と多い。

(単位：人、%)

	合計	行事などの企画は主に男性がしている	代表者は男性から選ばれる慣例がある	誰もが自由に発言できる雰囲気がない	責任ある役を女性が引き受けない	お茶くみや食事の準備などは女性が担当することになっている	名簿上では男性が会員になっているが、実際は女性が参加・活動	その他	特にない	無回答	
全体	486	39.9	39.3	9.3	18.7	29.0	18.1	1.0	25.9	6.0	
年齢×性別	18～29歳-男性	9	33.3	11.1	-	11.1	22.2	11.1	-	44.4	-
	18～29歳-女性	15	33.3	20.0	-	-	33.3	6.7	-	46.7	6.7
	30歳代-男性	22	36.4	45.5	18.2	22.7	36.4	9.1	-	22.7	4.5
	30歳代-女性	26	34.6	34.6	7.7	19.2	46.2	23.1	-	19.2	7.7
	40歳代-男性	38	52.6	52.6	10.5	26.3	28.9	23.7	-	13.2	2.6
	40歳代-女性	67	28.4	34.3	6.0	10.4	31.3	23.9	-	32.8	3.0
	50歳代-男性	61	59.0	55.7	19.7	36.1	24.6	23.0	1.6	18.0	1.6
	50歳代-女性	64	29.7	39.1	9.4	14.1	32.8	21.9	1.6	29.7	1.6
	60歳以上-男性	89	59.6	50.6	5.6	23.6	27.0	20.2	-	16.9	4.5
60歳以上-女性	93	22.6	21.5	8.6	11.8	23.7	7.5	3.2	35.5	16.1	

<前回調査との比較>

前回調査との比較では、男性で「責任ある役を女性が引き受けない」「名簿上では男性が会員になっているが、実際は女性が参加・活動」がともに前回は5ポイント強上回っている。

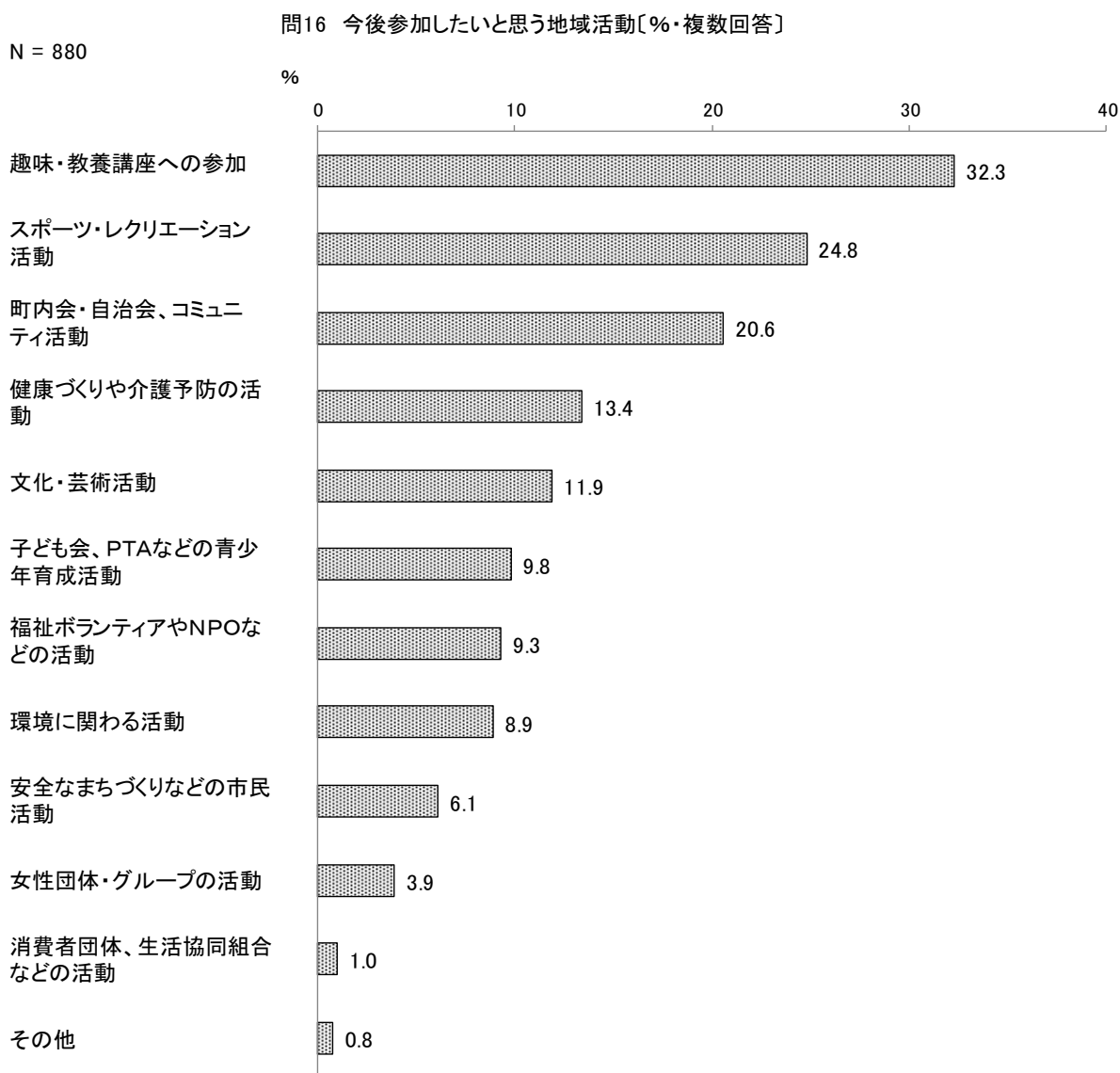
(単位：%)

		行事などの企画は主に男性がしている	代表者は男性から選ばれる慣例がある	誰もが自由に発言できる雰囲気がない	責任ある役を女性が引き受けない	お茶くみや食事の準備などは女性が担当することになっている	名簿上では男性が会員になっているが、実際は女性が参加・活動	その他	特にない	無回答
今回調査	全体	39.9	39.3	9.3	18.7	29.0	18.1	1.0	25.9	6.0
	男性	54.8	50.2	11.4	26.9	27.4	20.1	0.5	18.3	3.2
	女性	27.5	30.2	7.5	12.1	30.6	16.6	1.5	32.5	7.9
前回調査	全体	32.0	36.5	9.0	15.4	30.5	18.3	1.9	21.7	21.3
	男性	43.9	47.2	7.0	20.1	29.9	14.5	0.9	14.5	22.0
	女性	24.3	29.7	10.5	12.5	31.3	21.1	2.6	26.5	20.1

問 16 あなたは、今後（これからも）参加したいと思う地域活動はどのようなもので
 すか。

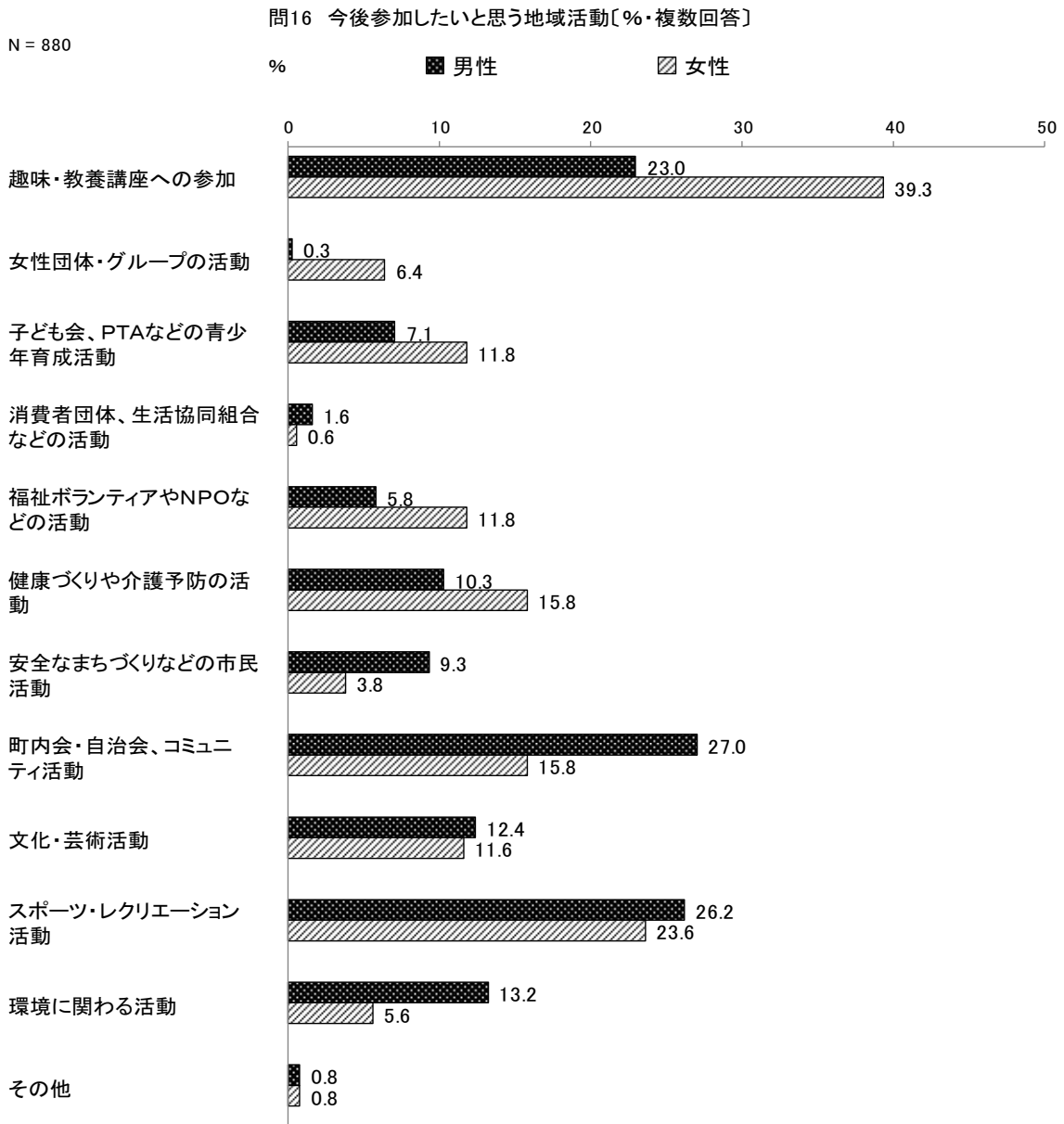
<全体>

「特にない」の32.5%を除くと「趣味・教養講座への参加」が32.3%と最も多く、「スポーツ・レクリエーション活動」が24.8%、「町内会・自治会、コミュニティ活動」が20.6%と続いている。



<性別>

性別では、男性は「町内会・自治会、コミュニティ活動」が27.0%、「スポーツ・レクリエーション活動」が26.2%、女性は「趣味・教養講座への参加」が39.3%と多い。



【詳細分析】

年齢×性別では、「趣味・教養講座への参加」は、18～29歳の男性で11.6%と少なく、50歳代の女性で49.6%と多い。「町内会・自治会、コミュニティ活動」は、50歳代の男性で34.9%と多い。「健康づくりや介護予防の活動」は、40歳代の女性で4.2%と少なく、60歳以上で25.9%と多い。「子ども会、PTAなどの青少年育成活動」は、18歳～29歳、30歳代、40歳代の女性で多く、20%を超えている。「環境に関わる活動」「安全なまちづくりなどの市民活動」は、50歳代と60歳以上の男性で多く回答されている。

世帯構成別では、『親と子と孫など（3世代）』で「町内会・自治会、コミュニティ活動」が30.3%、「子ども会、PTAなどの青少年育成活動」が18.2%と多い。

婚姻状況別では、『既婚（配偶者がいる）』で、「趣味・教養講座への参加」（35.8%）、「スポーツ・レクリエーション活動」（28.3%）がやや多い。

子どもの有無別では、「子ども会、PTAなどの青少年育成活動」は『小学校入学前の子どもがいる』（42.5%）、『小学生の子どもがいる』（35.6%）で多く、『いない』では、「特にない」が41.0%と多い。

介護や支援を必要とする家族の有無別では、『いる』で、「趣味・教養講座への参加」（41.6%）、「健康づくりや介護予防の活動」（18.8%）が多い。

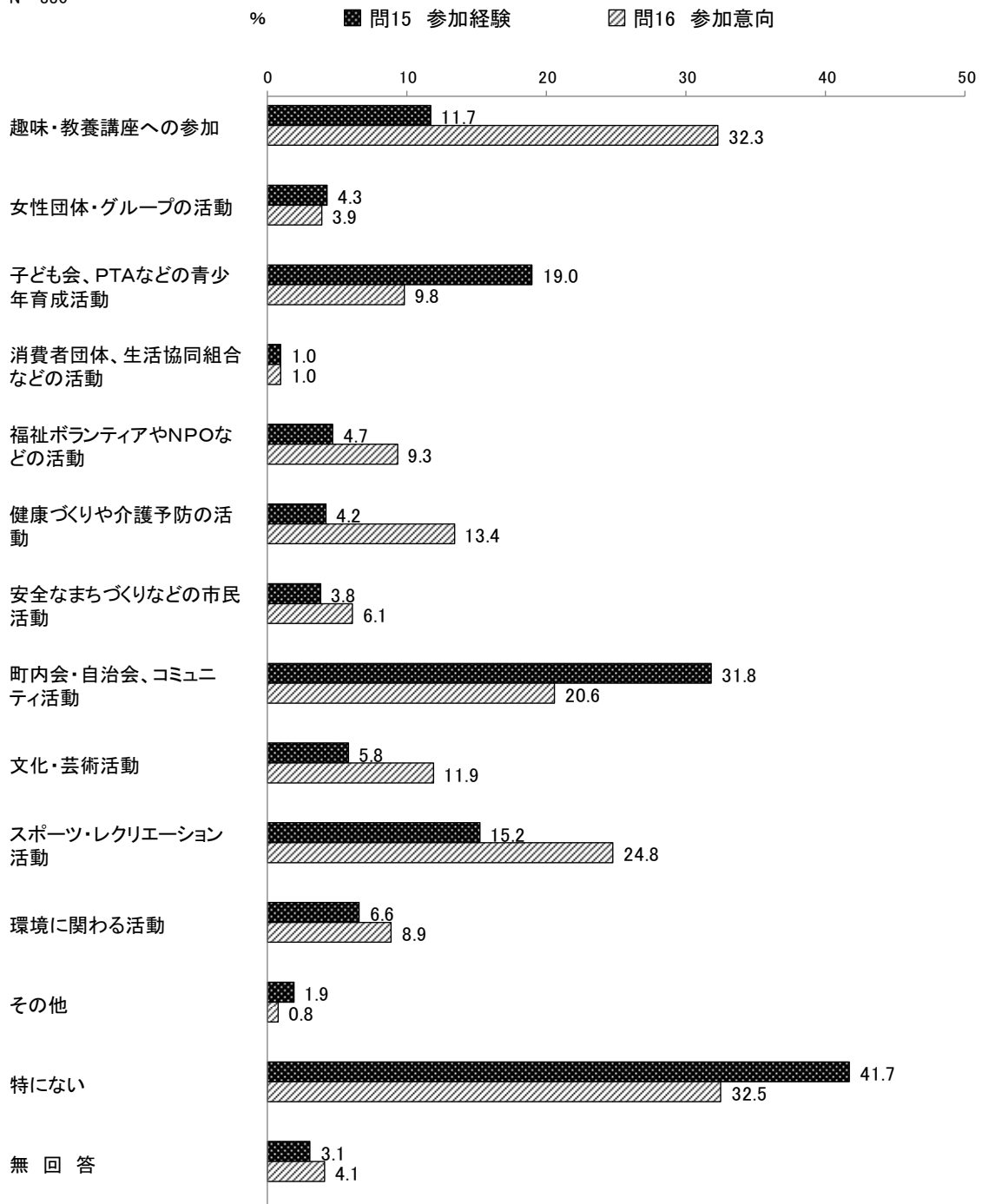
(単位：人、%)

	合計	趣味・教養講座への参加	女性団体・グループの活動	子ども会、PTAなどの青少年育成活動	消費者団体、生活協同組合などの活動	福祉ボランティアやNPOなどの活動	健康づくりや介護予防の活動	安全なまちづくりなどの市民活動	町内会・自治会、コミュニティ活動	文化・芸術活動	スポーツ・レクリエーション活動	環境に関わる活動	その他	特にない	無回答	
全体	880	32.3	3.9	9.8	1.0	9.3	13.4	6.1	20.6	11.9	24.8	8.9	0.8	32.5	4.1	
年齢×性別	18～29歳-男性	43	11.6	-	9.3	-	4.7	2.3	4.7	9.3	9.3	23.3	-	-	51.2	4.7
	18～29歳-女性	52	23.1	1.9	21.2	-	13.5	11.5	7.7	7.7	5.8	17.3	5.8	-	32.7	3.8
	30歳代-男性	46	17.4	-	10.9	2.2	2.2	2.2	8.7	23.9	4.3	23.9	10.9	-	37.0	-
	30歳代-女性	62	35.5	4.8	30.6	-	8.1	4.8	1.6	19.4	11.3	16.1	4.8	-	32.3	1.6
	40歳代-男性	68	17.6	-	16.2	1.5	7.4	7.4	2.9	29.4	8.8	26.5	4.4	-	39.7	2.9
	40歳代-女性	96	43.8	4.2	22.9	-	12.5	4.2	3.1	16.7	9.4	22.9	5.2	-	32.3	2.1
	50歳代-男性	83	30.1	-	6.0	2.4	7.2	12.0	13.3	34.9	18.1	34.9	18.1	2.4	24.1	1.2
	50歳代-女性	115	49.6	5.2	4.3	0.9	14.8	18.3	4.3	16.5	15.7	27.0	7.0	2.6	33.0	2.6
	60歳以上-男性	138	26.8	0.7	1.4	1.4	5.8	15.9	11.6	27.5	14.5	22.5	19.6	0.7	30.4	5.8
60歳以上-女性	174	36.2	10.3	1.1	1.1	10.3	25.9	3.4	16.1	12.1	26.4	5.2	0.6	28.7	8.6	
世帯構成	一人暮らし	71	18.3	4.2	1.4	1.4	9.9	15.5	5.6	19.7	18.3	19.7	2.8	-	36.6	7.0
	夫婦（事実婚を含む）のみ	213	36.6	6.6	5.2	-	8.0	18.8	7.0	17.8	15.0	24.9	11.7	1.4	32.9	5.2
	親と子供、夫婦とその親（2世代）	379	34.3	2.4	11.3	1.1	9.8	11.6	5.0	19.8	10.3	26.4	7.4	0.8	30.6	2.9
	親と子と孫など（3世代）	99	26.3	3.0	18.2	3.0	13.1	11.1	8.1	30.3	11.1	27.3	12.1	-	26.3	4.0
その他	112	32.1	3.6	10.7	0.9	6.3	10.7	7.1	20.5	8.9	19.6	9.8	0.9	40.2	4.5	
婚姻状況	未婚	179	24.0	1.1	4.5	0.6	10.6	7.3	5.6	14.0	12.3	16.2	7.3	-	42.5	3.9
	既婚（配偶者がいる）	611	35.8	4.4	11.9	1.1	8.5	15.4	6.5	22.6	11.3	28.3	9.8	1.1	29.6	3.1
	離別、死別	65	24.7	4.7	5.9	1.2	11.8	12.9	4.7	21.2	16.5	17.6	5.9	-	30.6	10.6
子どもの有無	小学校入学前の子どもがいる	87	31.0	4.6	42.5	-	4.6	5.7	3.4	24.1	6.9	29.9	4.6	-	29.9	-
	小学生の子どもがいる	87	32.2	4.6	35.6	1.1	9.2	3.4	3.4	26.4	6.9	31.0	2.3	-	32.2	1.1
	中学生以上18歳未満の子どもがいる	101	23.8	1.0	18.8	2.0	7.9	8.9	5.9	21.8	6.9	27.7	5.9	1.0	32.7	3.0
	18歳以上の子どもがいる	447	37.4	4.5	2.5	0.9	10.3	19.0	7.8	21.9	13.4	28.2	11.4	1.3	28.6	5.1
いない	234	27.4	2.6	4.7	0.4	8.1	9.0	6.0	13.7	15.0	17.1	8.1	-	41.0	3.8	
と介護や支援を必要とする家族の有無	いる	197	41.6	3.6	4.6	1.0	12.7	18.8	6.1	19.8	12.7	24.4	11.2	-	34.0	3.0
	いない	674	29.7	3.9	11.4	1.0	8.3	12.0	6.2	21.1	11.7	24.9	8.3	1.0	31.9	4.2

<問 15 地域活動の参加経験・問 16 地域活動の参加意向の比較>

地域活動の参加経験と参加意向をみると、「趣味・教養講座への参加」「スポーツ・レクリエーション活動」は、参加意向が参加経験を10ポイント近く上回っている。

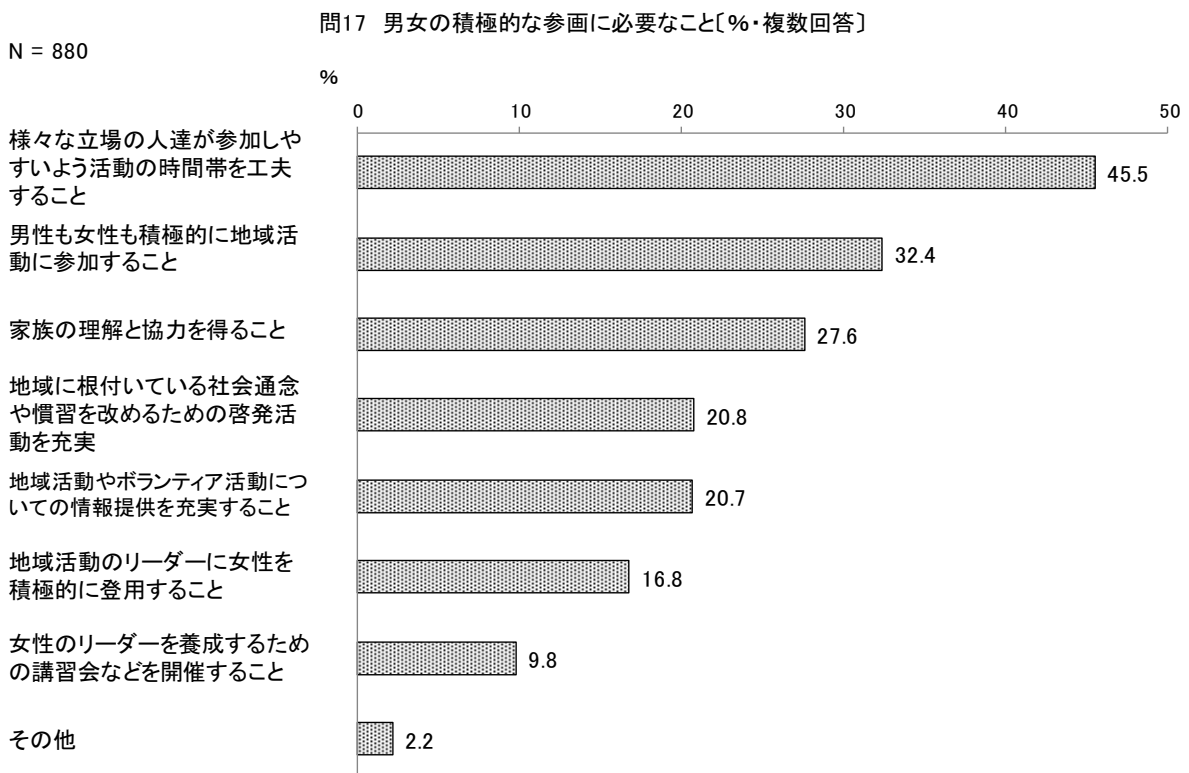
N = 880



問 17 あなたの住んでいる地域での様々な活動において、男女の積極的な参画を進めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

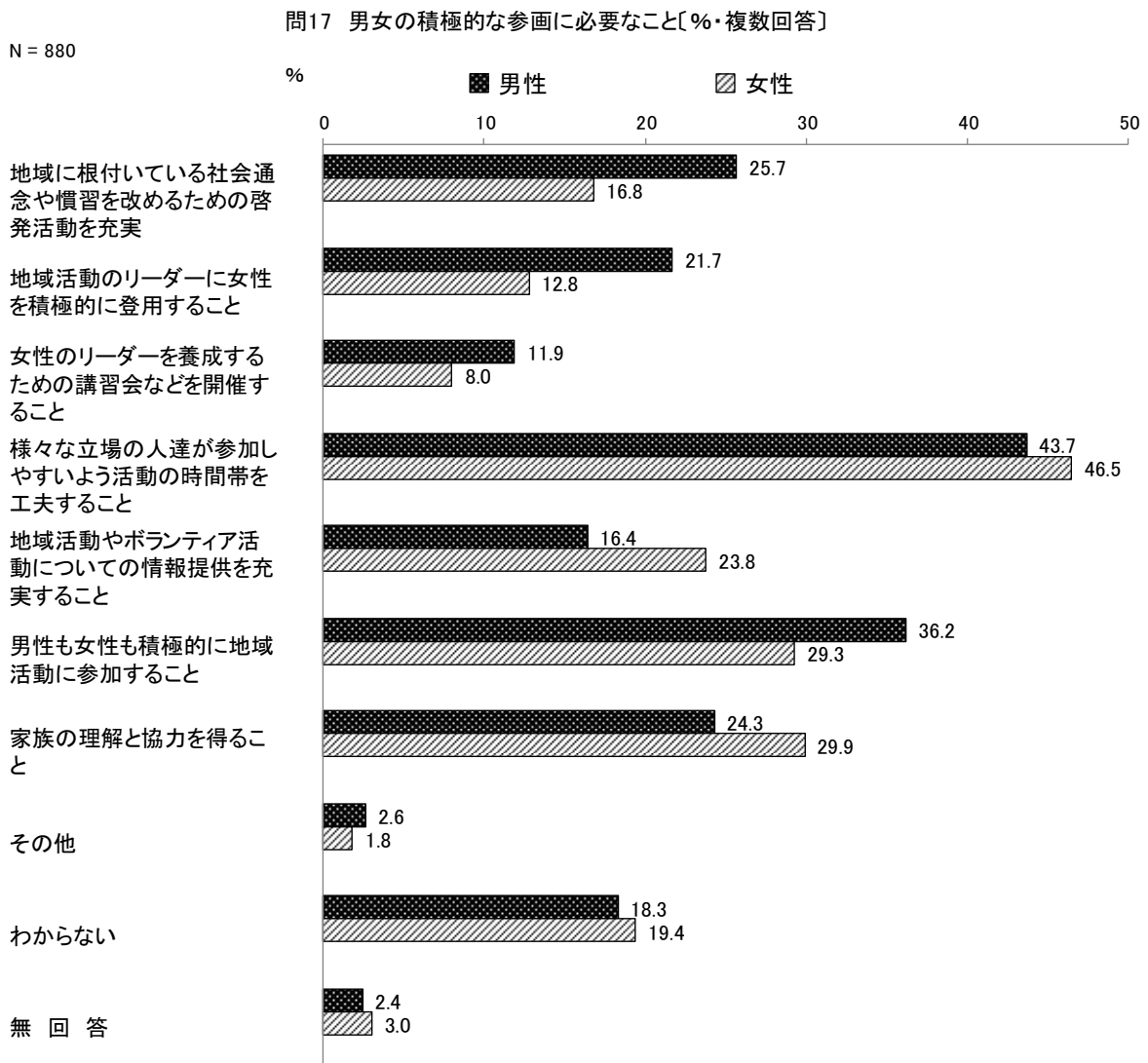
<全体>

「様々な立場の人達が参加しやすいよう活動の時間帯を工夫すること」が45.5%と最も多く、「男性も女性も積極的に地域活動に参加すること」が32.4%、「家族の理解と協力を得ること」が27.6%と続いている。



<性別>

性別では、「地域に根付いている社会通念や慣習を改めるための啓発活動を充実」「地域活動のリーダーに女性を積極的に登用すること」は、男性が女性を10ポイント弱、上回っている。「家族の理解と協力を得ること」は、女性が男性を5ポイント程度上回っている。



【詳細分析】

年齢×性別では、男性は、30歳代で「地域に根付いている社会通念や慣習を改めるための啓発活動を充実」が32.6%、40歳代で「様々な立場の人達が参加しやすいよう活動の時間帯を工夫すること」が54.4%、60歳以上で「地域活動のリーダーに女性を積極的の登用すること」が28.3%と多い。30歳代の女性で「家族の理解と協力を得ること」が40.3%と多い。

(単位：人、%)

		合計	地域に根付いている社会通念や慣習を改めるための啓発活動を充実	地域活動のリーダーに女性を積極的に登用すること	女性のリーダーを養成するための講習会などを開催すること	様々な立場の人達が参加しやすいよう活動の時間帯を工夫すること	地域活動やボランティア活動に関する情報提供を充実すること	男性も女性も積極的に地域活動に参加すること	家族の理解と協力を得ること	その他	わからない	無回答
全体		880	20.8	16.8	9.8	45.5	20.7	32.4	27.6	2.2	18.9	2.7
年齢×性別	18～29歳-男性	43	14.0	7.0	9.3	27.9	16.3	37.2	18.6	2.3	23.3	4.7
	18～29歳-女性	52	21.2	19.2	11.5	50.0	34.6	36.5	28.8	1.9	17.3	-
	30歳代-男性	46	32.6	8.7	6.5	45.7	8.7	28.3	26.1	-	13.0	2.2
	30歳代-女性	62	11.3	12.9	4.8	50.0	24.2	35.5	40.3	-	17.7	-
	40歳代-男性	68	20.6	22.1	13.2	54.4	16.2	27.9	29.4	5.9	19.1	1.5
	40歳代-女性	96	16.7	8.3	6.3	52.1	22.9	24.0	30.2	2.1	16.7	2.1
	50歳代-男性	83	25.3	25.3	7.2	49.4	19.3	51.8	20.5	1.2	15.7	1.2
	50歳代-女性	115	16.5	13.0	9.6	49.6	19.1	26.1	30.4	2.6	22.6	1.7
	60歳以上-男性	138	29.7	28.3	16.7	39.1	17.4	33.3	25.4	2.9	19.6	2.9
	60歳以上-女性	174	17.8	13.2	8.0	39.1	24.1	29.9	25.9	1.7	20.1	6.3

2-7 男女共同参画社会の実現に向けて

問 18 全国的に少子化が進んでおり、本市においても年々、出生率が低下しています。安心して子どもを産み育てる渋川市とするため、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。

<全体>

「出産・育児に対する経済的な支援の拡充」が51.9%、「働きながら子育てができるよう、柔軟な勤務形態の普及」が50.0%と多く、次いで「保育サービス、子ども・子育て支援サービスの充実」が39.9%、「出産・子育て後に再就職しやすい制度づくり」が32.3%である。

